SONY

4-135-398-**03**(1)

デジタルハイビジョンチューナー内蔵HDDレコーダー

取扱説明書

BRX-A320/BRX-A500

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

⚠警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

2～7ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。11ページの「使用上のご注意」もあわせてお読みください。

定期的に点検する

お買い上げ時とその後1年に1度は「安全点検チェックリスト」に従って点検してください。

1年に1度は内部の掃除を、5年に1度は点検をお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。（有料）

内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災や故障の原因となることがあります。湿気の多くなる梅雨期の前に掃除を行うと、より効果的です。

また、本機の通風孔付近にほこりが付着するときがありますが、付着がひどい場合、故障の原因となることがあります。掃除機などで1か月に1度、ほこりを吸い取ることをおすすめします。

故障したら使わない

すぐにお買い上げ店、またはソニーご相談窓口に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

- 煙が出たり、こげくさいにおいがしたら
- 本機を利用しているときや、スタンバイ状態(画面が消えていて、本体の電源ランプが赤色に点灯中)のときに、本機内部から異常な音がしたら
- 内部に水などが入ったら
- 内部に異物が入ったら
- 本機を落としたり、キャビネットを破損したりしたときは

➡

❶ 電源を切る
❷ 電源プラグをコンセントから抜く
❸ お買い上げ店またはソニーご相談窓口に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

⚠危険

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電･破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

⚠警告

この表示の注意事項を守らないと、火災･感電などにより死亡や大けがなどの人身事故につながることがあります。

⚠注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の物品に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号

火災　感電　注意

行為を禁止する記号

禁止　分解禁止　ぬれ手禁止

風呂･シャワー室での使用禁止　接触禁止

行為を指示する記号

指示　プラグをコンセントから抜く

⚠危険

火災　感電

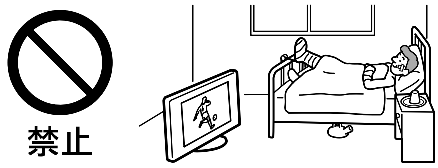
下記の注意を守らないと火災・感電・破裂により死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

次のことを守って、本機を設置する

誤った設置をすると、本機が落下し、大けがをすることがあります。
平らなところに設置してください。傾いたところに設置すると、本機が滑ったり、倒れてけがの原因となることがあります。

本機を医療機関に設置しない

医療機器の誤動作の原因となることがあります。



⚠警告

火災　感電

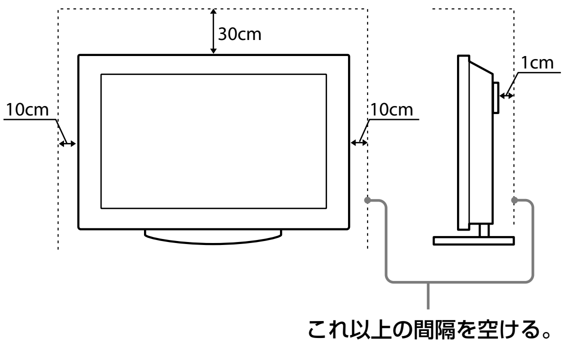
下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

周囲に間隔を空ける

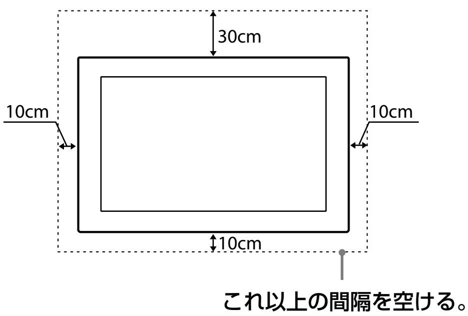
周囲に間隔を空けないで設置すると、通風孔がふさがり熱が内部にこもり、火災や故障の原因となります。
本機を壁に近づけすぎると、壁などにほこりが付着し、黒くなることがあります。
風通しをよくするために、壁から距離を離して置いてください。

本機をテレビの背面に設置する場合

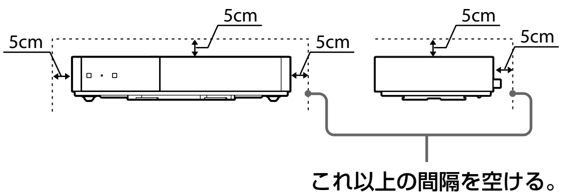
スタンドを使用するとき



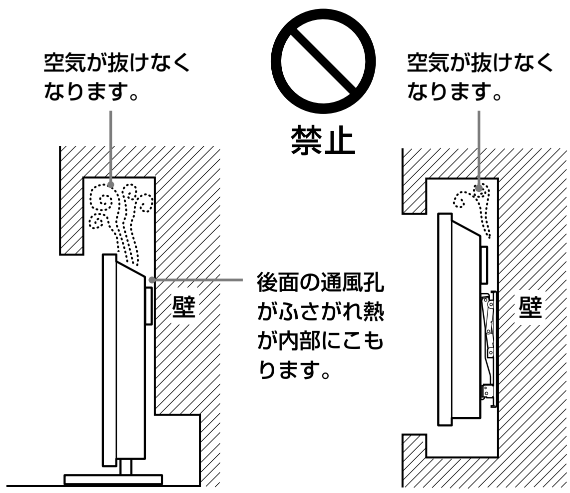
壁に取り付けるとき



本機をテレビの横に設置する場合



下図のような設置はおやめください。



⚠警告

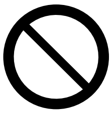


下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡や大けが**の原因となります。

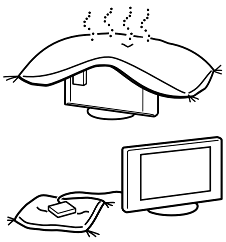
通風孔をふさがない

通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない。
- 棚や押入の中に置かない。
- 布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上、または壁や家具に密接にして置いて、通風孔をふさぐなど、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。



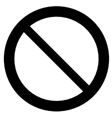
禁止



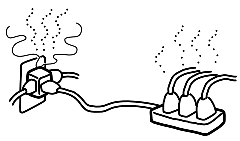
電源(コード、プラグ)

コンセントや配線器具の定格を超える使いかたや、交流100V(50/60Hz)以外では使用しない

たこ足配線などで定格を超えると、発熱により火災の原因となります。
海外などで異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



禁止

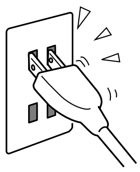


ゆるいコンセントに接続しない

電源プラグは、根元までしっかりと差し込んでください。根元まで差し込んでもゆるみがあるコンセントにはつながないでください。発熱して火災の原因となることがあります。電気工事店にコンセントの交換をご依頼ください。



禁止



電源プラグをつなぐのは、他機器との接続が終わってから

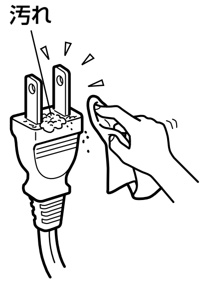
コンセントに差したまま他機器と接続したりすると、感電の原因になることがあります。
他機器との接続が終わった後に、電源プラグを壁のコンセントに差してください。

電源コードを抜くときはまず壁側コンセントから抜く

壁側コンセントから抜かないと感電することがあります。抜くときは必ずコードでなくプラグを持って抜いてください。

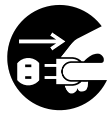
電源プラグは定期的にお手入れを

電源プラグとコンセントの間に、ゴミやほこりがたまって湿気を吸うと、絶縁低下を起こして、火災の原因となります。定期的に電源プラグをコンセントから抜き、ゴミやほこりを取ってください。



お手入れの際、電源プラグを抜く

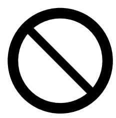
電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



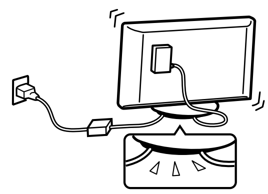
プラグをコンセントから抜く

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
万一電源コードが傷んだ場合は、お買い上げ店またはソニーご相談窓口に交換をご依頼ください。



禁止



ぬれた手で電源プラグにさわらない

ぬれた手で電源プラグの抜き差しをすると、感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止



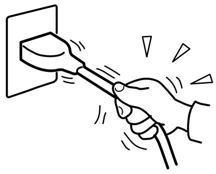
⚠警告 火災 感電

下記の注意を守らないと火災・感電により死亡や大けがの原因となります。

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードに傷が付き、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

禁止



雷が鳴りだしたら、アンテナ線や電源プラグに触れない

感電の原因となります。

接触禁止



付属のACパワーアダプターを使用する

電源コードを含め付属以外のものを使用すると、火災や感電の原因となります。

ACパワーアダプターに布団などをかけたり、上にものを置いたりした状態で使わない

高温となるため、せまい空間での使用を避けて、熱がこもらないよう充分なスペースを空けてください。

熱がこもってケースが変形することがあります。また、火災や、やけどの原因となります。

以下の使用方法を必ず守って、本機をお使いください。

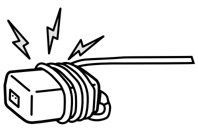
禁止

— ACパワーアダプターのまわりに物を置かない。
— ACパワーアダプターを布などでおおわない。
— 2つ以上のACパワーアダプターを重ねない。
— ACパワーアダプターを箱などに入れない。

ACパワーアダプターのコードや電源コードをACパワーアダプターに巻き付けない

断線や故障の原因となることがあります。

禁止



本機は国内専用です

交流100Vの電源電圧でお使いください。

海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。また、コンセントの定格を超えて使用しないでください。

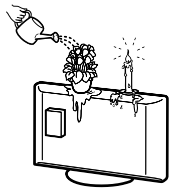
指示

使用

内部に水や異物を入れない
本機やACパワーアダプターの上に熱器具、花瓶など液体が入ったものやローソクを置かない

内部に水や異物が入ると火災の原因となります。万一、水や異物が入った場合は、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

禁止



本機やACアダプターの上に重いものを置かない

故障の原因となることがあります。

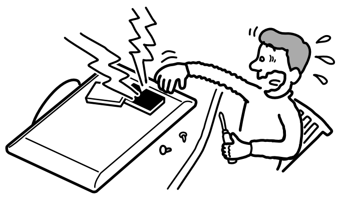
禁止

分解や改造をしない

内部には電圧の高い部分があり、裏ぶたを開けたり改造したりすると、火災や感電の原因となります。

内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーご相談窓口にご依頼ください。

分解禁止



⚠警告　火災　感電　下記の注意を守らないと**火災・感電**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

通電中の本機やACパワーアダプターに長時間触れない
長時間皮膚が触れたままになっていると、低温やけどの原因となることがあります。

禁止

移動、設置

正しい方法で運搬／移動する
誤った方法で運搬したり移動したりすると、本機が落下し、打撲や骨折をしたり、大けがをすることがあります。
本機を持ち運ぶ際には、11ページの「使用上のご注意」をご参照の上、正しい方法で行ってください。

使用・設置場所について
電源コンセントに容易に手が届く場所に置き、何か異常が起こったときは、すぐに電源プラグを抜くようにしてください。

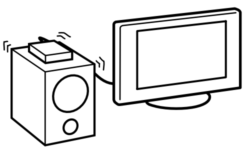
不安定な場所に置かない
本機の底面よりも、広くて水平で丈夫な場所に置いてください。
ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、本機が落ちたり倒れたりしてけがの原因となります。
平らで充分に強度があり、落下しない所に置いてください。

禁止



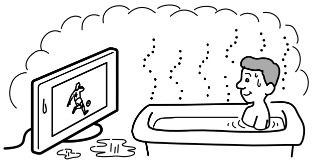
振動するものの上に置かない
故障の原因となることがあります。

禁止



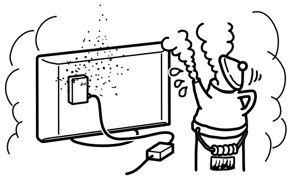
水のある場所に置かない
水が入ったり、ぬれたり、風呂場で使うと、火災や感電の原因となります。雨天や降雪中の窓際でのご使用には特にご注意ください。

風呂・シャワー室での使用禁止



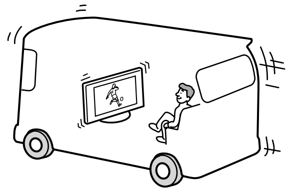
湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や、虫の入りやすい場所、直射日光が当たる場所、熱器具の近くに置かない
火災や感電の原因となることがあります。
銭湯や温泉の脱衣所などに設置すると、温泉に含まれる硫黄などにより、硫化したり、高い湿度で本機やACパワーアダプターが故障したりすることがあります。

禁止



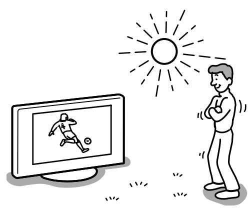
乗物の中や船舶の中などで使用しない
移動中の振動により、本機が転倒したり落下したりして、けがの原因となることがあります。
塩水をかぶると、発火や故障の原因となることがあります。

禁止



屋外や窓際で使用しない
雨水などにさらされ、火災や感電の原因となることがあります。また、直射日光を受けると、本機やACパワーアダプターが熱を持ち、故障することがあります。
海辺や砂地、あるいは砂ぼこりが起こる場所などでは、砂がかからないようにしてください。故障の原因になるばかりか、修理できなくなることがあります。

禁止

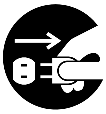


⚠注意

下記の注意を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財**に**損害**を与えたりすることがあります。

旅行などで長期間、ご使用にならないときは、電源プラグを抜き、直射日光の当たらない涼しい場所に保管する

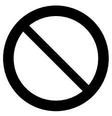
本機を長時間使用しないときは、安全のため、必ず電源プラグを抜いてください。また、故障を避けるため涼しい場所に保管してください。
本機は電源スイッチを切っただけでは、完全に電源からは切り離されておらず、常に微弱な電流が流れています。
完全に電源から切り離すためには電源プラグをコンセントから抜く必要があります。
コンセントは製品の設置場所に一番近く、抜き差しがしやすい場所を選んでください。



プラグをコンセントから抜く

人が通行するような場所に置かない
コード類は正しく配置する

電源コードや信号ケーブルは、足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあります。
人が踏んだり、引っかけたりするような恐れのある場所を避け、充分注意して接続･配置してください。

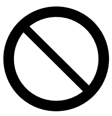


禁止



幼児の手の届くところに置かない

けがの原因になることがあります。お子さまがさわらぬようにご注意ください。



禁止

アンテナの工事は電気店に依頼する

アンテナ工事には技術と経験が必要ですので、必ず電気店にご依頼ください。

目次

準備

基本的な使いかた

録画する

再生する

消去する

テレビを見る

ブラビアのリモコンを使った便利機能

次のページにつづく⇨

さまざまな設定をする

困ったときは

その他

使用上のご注意

内蔵ハードディスクについての重要なお願い

ハードディスクは記録密度が高いため、長時間録画やすばやい頭出し再生を楽しむことができます。その一方、ほこりや衝撃、振動に弱く磁気を帯びた物に近い場所での使用は避ける必要があります。大切なデータを失わないよう、次の点にご注意ください。

- 故障の原因となるため、お客様ご自身でハードディスクの交換や増設をしない。ハードディスクを取り出すと保証の対象外となります。
- 本機に振動、衝撃を与えない。
- 振動する場所や不安定な場所では使用しない。
- ビデオやアンプなどの熱源となる機器の上に置かない。
- 急激な温度変化(毎時10℃以上の変化)のある場所では使用しない。結露(露つき)の原因となります。
- 電源プラグをコンセントにさしたまま本機を動かさない。
- 電源が入っているときは、電源プラグをコンセントから抜かない。
- 本機を移動する場合、コンセントから電源プラグを抜いて、振動、衝撃を与えずに行う。

電源プラグをコンセントから抜くときやACパワーアダプターを本機から取りはずすときは

電源プラグをコンセントから抜くときは、以下の手順で行ってください。

① テレビ側のHDMI機器制御の設定を「切」に設定する。または、テレビ側のHDMI機器電源連動の設定を「切」に設定する。
② 予約リスト内の予約をすべて削除する。
③ 本機に接続されているアンテナケーブルをすべてはずす。
④ 本機前面の電源スイッチを10秒以上押し続け、電源を切る。本機の電源ランプが赤く点灯していることを確認してください。
⑤ アクセスランプの消灯を確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。

ご注意

本機の電源スイッチを10秒以上押し続けて電源を切る方法は、緊急の場合の電源遮断処理です。一刻も早く電源を切る処理を行うため、予約した録画が実行されないことがあります。
本機の電源スイッチを10秒以上押し続けて電源を切ったときは、再度電源を「入」にするか、電源が「切」の状態で一度コンセントを抜き、再度挿しなおすことで、確実に予約録画が実行されます。

内蔵ハードディスクの修理について

- 修理·点検の際、不具合症状の発生·改善等の確認のために必要最小限の範囲でハードディスク上のデータを確認することがあります。ただし、タイトルなどのファイルを弊社で複製·保存することはありません。
- ハードディスクの初期化または交換が必要となる場合は、弊社の判断で初期化を行わせていただきます。ハードディスクの記録内容はすべて消去されますのでご了承ください(著作権法上の著作物に該当するデータが発見された場合も含みます)。
- 弊社にて交換したハードディスクの保管や処分につきましては、弊社の責任のもとで、事業協力会社に作業を委託する場合を含め、第三者がハードディスク内の情報に不当に触れることがないように、合理的な範囲内での厳重な管理体制のもとで作業を行います。

残像現象(画像の焼きつき)のご注意

本機のメニュー画面などの静止画をテレビ画面に表示したまま長時間放置しないでください。画面に残像現象を起こす場合があります。特にプラズマディスプレイパネルテレビまたは液晶テレビなどでは残像現象が起こりやすいので、ご注意ください。

電源を「切」にしているときのご注意

- 本機は番組表データなどを取得するため、電源が「切」の状態でも、一時的に本機の内部のシステムが起動することがあります。これにより、本機のハードディスクや冷却ファンが動作することがありますが、故障ではありません。
- 次のようなときは、電源が「切」の状態でもファンが回り続けることがあります。
  - 番組表の番組データ取得中
  - ソフトウェアアップデートを行っているとき
  - 録画中のとき
  - 録画した番組のサムネイルを生成しているとき

個人情報の記録について

- 本製品内のハードディスク、メモリーには各種機能の設定や、ご使用にあたってのお知らせ(メール)、視聴学習履歴が記録されます。
- 本製品を廃棄、譲渡などするときは、本製品内のハードディスク、メモリーに記録されているデータを消去することを強くお勧めします。
  「録画メニュー」の[レコーダー設定]から[その他]→[初期化]を選択し、[個人情報の初期化]をチェックして「実行」すると、以下の個人情報が消去されます。
  - お知らせ(メール)
  - 視聴学習履歴(おすすめ番組表)
  - 視聴年齢制限(レベル)と暗証番号

記録内容の補償に関する免責事項

本機の不具合など何らかの原因で本製品内のハードディスクに記録できなかった場合、不具合·修理など何らかの原因で本製品内のハードディスクの記録内容が破損·消滅した場合など、いかなる場合においても、記録内容の補償及びそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切の責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復、復元、複製などはいたしません。あらかじめご了承ください。

設置場所について

次のような場所には置かないでください。

- 振動の多い所。
- 直射日光が当る所、湿度が高い所。
- 極端に寒い所。
- チューナーやビデオデッキから近い所。(チューナーやビデオデッキといっしょに使用するとき、近くに置くと、雑音が入ったり、映像が乱れたりすることがあります。特に室内アンテナを使用しているときに起こりやすいので、屋外アンテナの使用をおすすめします。)

また、本機の上に花瓶など水の入った容器を置いたり、水のかかる場所で使用しないでください。本機に水がかかると故障の原因となります。

次のページにつづく⇨

使用上のご注意(つづき)

設置場所を変えるときは

配線/接続作業を行うときは「電源プラグをコンセントから抜くときやACパワーアダプターを本機から取りはずすときは」(11ページ)をご覧の上、電源プラグをコンセントから必ず抜いてください。

結露(露つき)について

結露とは空気中の水分が金属の板などに付着し、水滴となる現象です。本機を寒い場所から急に暖かい場所に持ち込んだときや、冬の朝など暖房を入れたばかりの部屋で、本機の表面や内部に結露が起こることがあります。
結露が起きた場合、結露がなくなるまで、そのまま放置してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込んでいない場合
  電源プラグをコンセントに差し込まないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れていない場合
  電源を入れないで、そのまま放置してください。
- 電源を入れている場合
  電源を入れたまま放置してください。

結露があるときにご使用になると、故障の原因になります。

本体のお手入れのしかた

中性洗剤を少し含ませた柔らかい布で拭いてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

メモリーに保存されるデータに関するご注意

- 本機のメモリーには、ご使用にあたって番組予約履歴、メールなどが記録されます。
- 本機を廃棄、譲渡などする場合には、本機のメモリーに記録されているデータを消去することを強くおすすめします。消去方法について詳しくは、「本体設定」の「HDD初期化」をご覧ください(61ページ)。
- 本機の不具合·修理など、何らかの原因で、本機のメモリーに保存されたデータが破損·消滅した場合など、いかなる場合においても記録内容の補償およびそれに付随するあらゆる損害について、当社は一切責任を負いかねます。また、いかなる場合においても、当社にて記録内容の修復はいたしません。あらかじめご了承ください

リモコンの取り扱いについて

- 落としたり、踏みつけたり、中に液体をこぼしたりしないよう、ていねいに扱ってください。
- 直射日光が当たるところ、暖房機具のそばや湿度が高いところには置かないでください。

廃棄するときは

- **一般の廃棄物と一緒にしないでください。**
  ごみ廃棄場で処分されるごみの中に本機を捨てないでください。
- **廃棄の際は、家電リサイクル法や、地方自治体の条例などの規則に従ってください。**

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

⚠警告

- 火の中に入れない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 充電しない。
- +と−の向きを正しく入れる。
- 電池を使いきったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 複数の電池を使うときは、新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

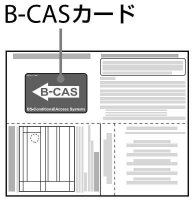
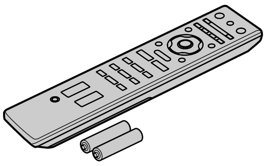
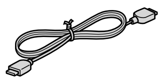
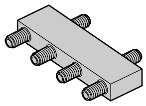
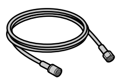
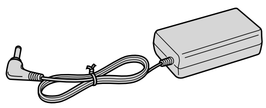
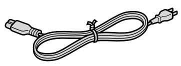
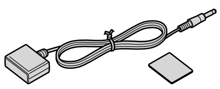
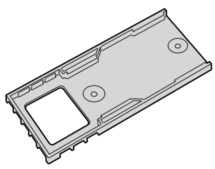
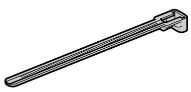
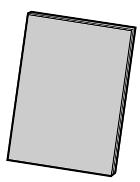
⚠注意

- 指定された種類の電池を使用する。
- **廃棄の際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。**

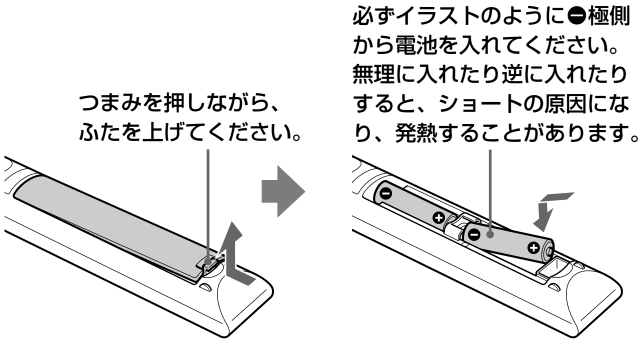
もし電池の液が漏れたときは、リモコンの電池入れの液をよく拭き取ってから、新しい電池を入れてください。
万一、液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

[手順1] 付属品を確かめる

付属品一覧

• B-CASカード(デジタル放送用ICカード)(1枚) • B-CAS用ユーザー登録はがき台紙(1枚)	
• リモコン(1個) • 単3形乾電池(2個)	
• HDMIケーブル(1.5m)(1本)	
• 分配器(1個)	
• 同軸ケーブル(2本)	
• ACパワーアダプター(2m)(1個)	
• 電源コード(1本)	
• リモコン延長受光部(1個) • 両面テープ(2枚＊[1]) ＊1 1枚は予備です。	
• ブラケット(テレビ背面取り付け用)(1個)	
• プッシュナット(ねじ)(3個＊[2]) ＊2 1個は予備です。	
• 結束バンド(3個)	
• 取扱説明書(本書) • 保証書 • この機器の使用上の注意ラベル (各1部)	

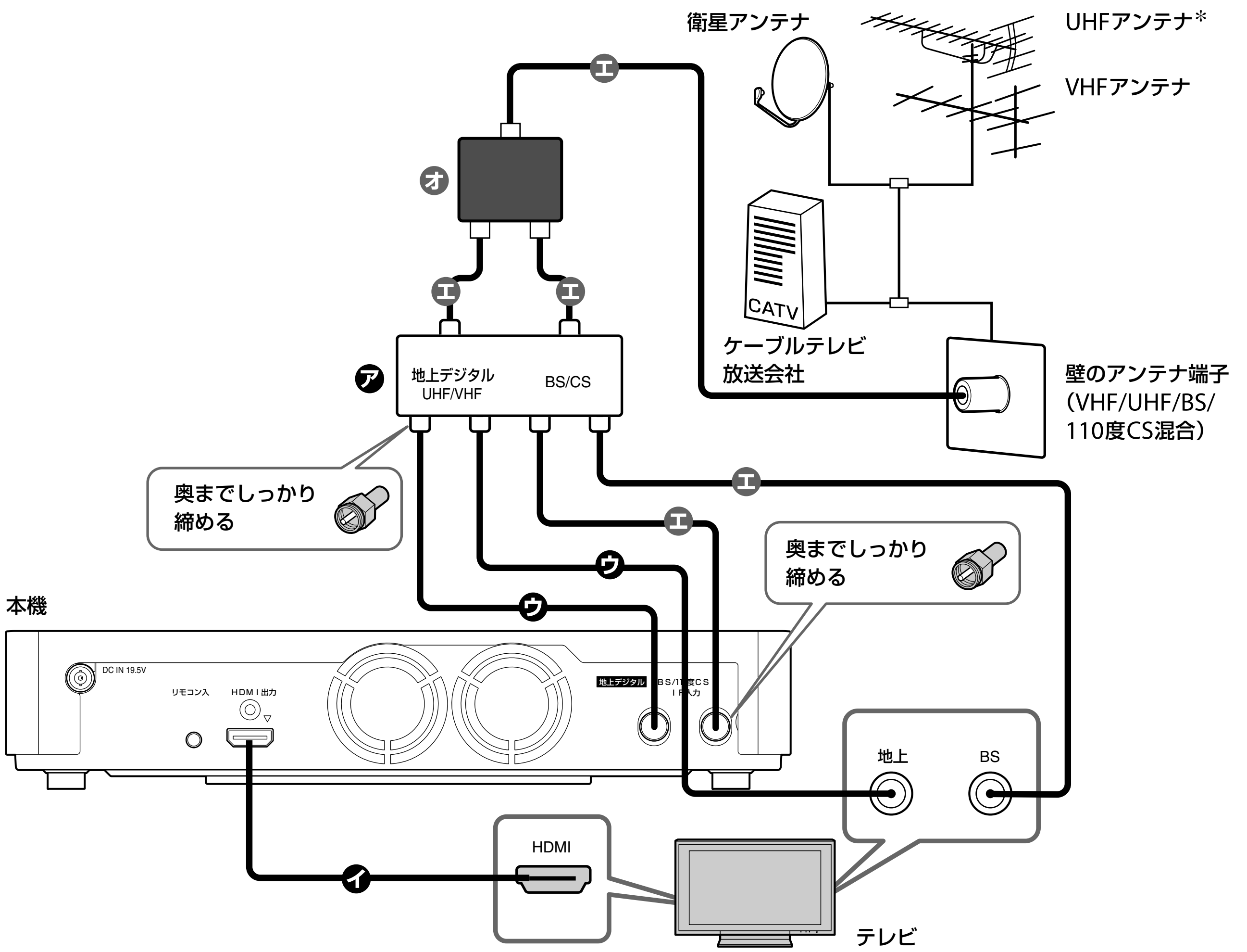
リモコンに電池を入れるには



予備の部品は、誤って飲み込まないよう、お子さまの手の届かないところに保管してください。

[手順2] アンテナとHDMIケーブルをつなぐ

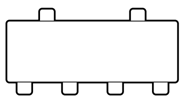
地上波と衛星放送の信号が混合の場合



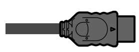
* 地上デジタル放送を受信します。

付属

ア 分配器(1個)



イ HDMIケーブル(1本)



ウ 同軸ケーブル(2本)

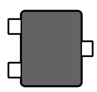


別売り

エ 衛星用同軸ケーブル(5本)



オ 全端子電流通過型のCS/BS/地上波放送対応分配器(EAC-DSD12など)(1個)

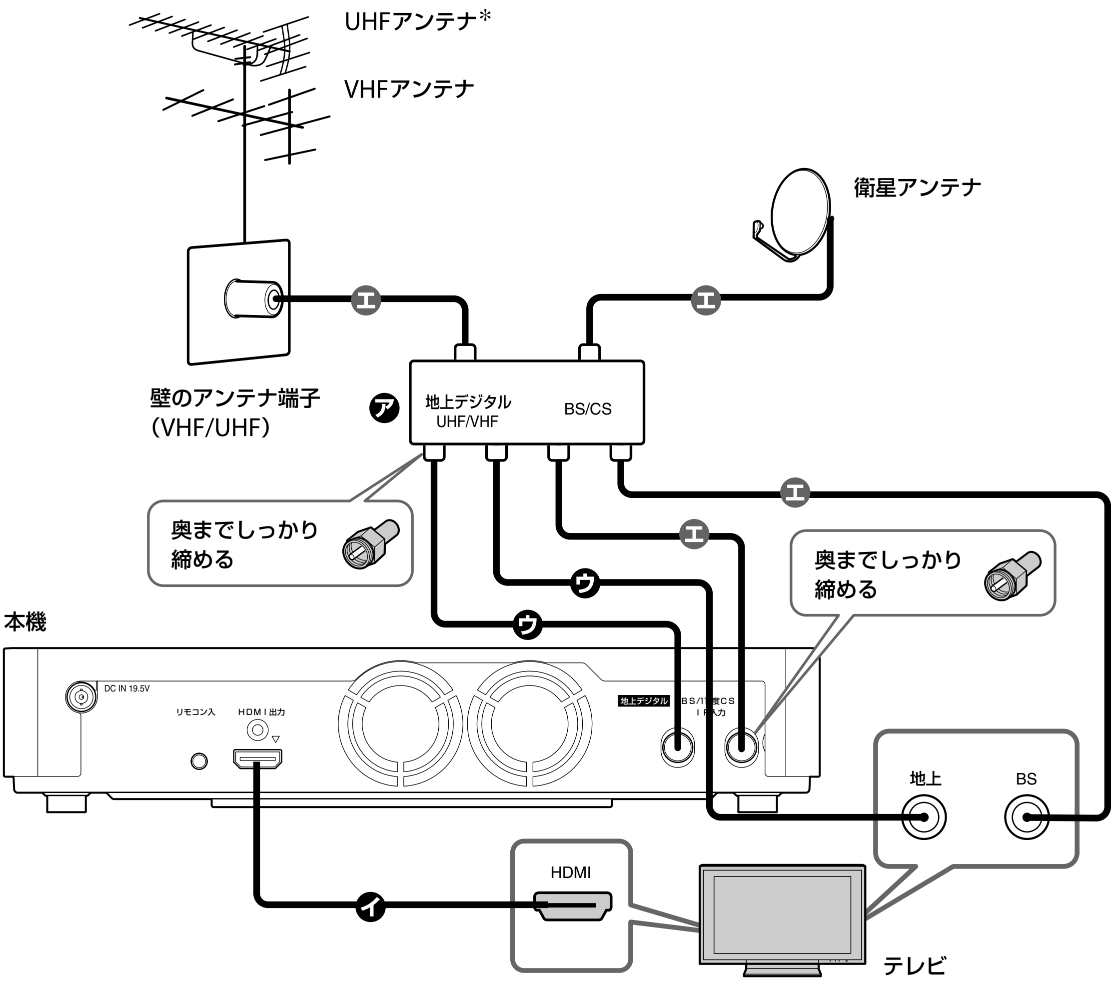


ご注意

アの分配器について

- 付属の分配器を使用してください。
- 付属以外の分配器を使用した場合の性能は保証しかねます。

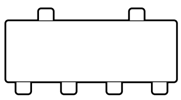
地上波と衛星放送の信号が個別の場合



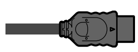
＊ 地上デジタル放送を受信します。

付属

ア 分配器（1個）



イ HDMIケーブル（1本）



ウ 同軸ケーブル（2本）



別売り

エ 衛星用同軸ケーブル（4本）



ご注意

- 付属の分配器を使用してください。
- 付属以外の分配器を使用した場合の性能は保証しかねます。

次のページにつづく⇨

[手順2]アンテナとHDMIケーブルをつなぐ(つづき)

ブラビア X1000シリーズと接続してお使いいただく場合のアンテナ接続について

〈ブラビア〉X1000シリーズで、地上波放送と衛星放送の信号を1本のアンテナ線で混合して接続している場合、14ページに従って地上波放送のアンテナ線と衛星放送のアンテナ線を分けて接続し直す必要があります。

さらに、テレビ側の設定でホームメニュー→(設定)→(放送設定)→[アンテナ接続方法]から、[地上と衛星を別々に接続]を選択し、地上波放送のアンテナ線と衛星放送のアンテナ線を別々に接続して受信するように設定してください。

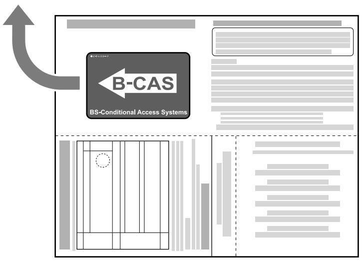
[手順3] B-CASカードを入れる

B-CASカード(デジタル放送用ICカード)はお客様と地上デジタル、BSデジタル、110度CSデジタルの放送局をつなぐカードです。
本機は単品での動作が可能です。デジタル放送を視聴するしないに関わらず、必ずB-CASカードを挿入してください。

次の手順は、電源を切った状態で行ってください。

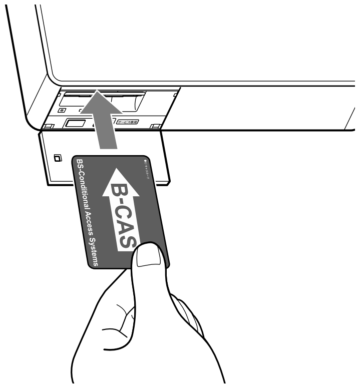
1 **同封の「ビーキャス(B-CAS)カード使用許諾契約約款」の内容を読み、了解された上で、台紙からB-CASカードをはがす。**

B-CAS用ユーザー登録はがき台紙の内容にご不明な点があるときは、B-CASカスタマーセンター(電話番号0570-000-250)へお問い合わせください。



2 **本機前面の扉を開ける。**

3 **B-CASカードを奥までしっかり挿入する。**



上の図のとおり、印刷された矢印の方向に挿入する。

ご注意

B-CASカードを挿入したあとは、本機前面の扉を必ず閉めてください。

4 **同梱のB-CAS用ユーザー登録はがき、または台紙に記載されたホームページから、ユーザー登録する。**

登録は任意で無料です。

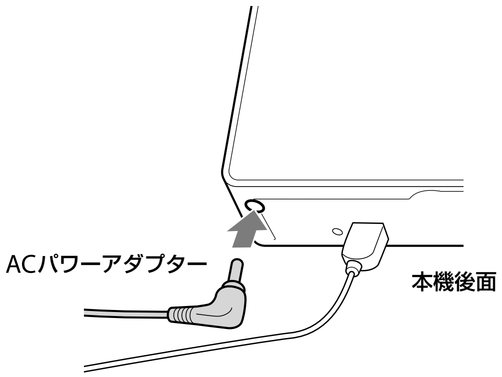
B-CASカードに関する注意事項

有料チャンネルは契約したB-CASカードが挿入された機器のみで視聴·録画できます。本機で視聴·録画するときは、本機に挿入しているB-CASカードで契約してください。
他の機器で契約したカードを挿入した場合でも視聴·録画できます。

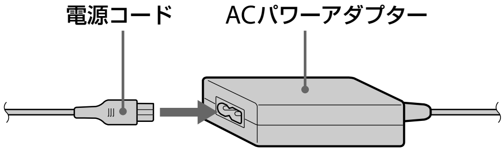
準備

[手順4] ACパワーアダプターを本機につなぐ

1 付属のACパワーアダプターを本機につなぐ。



2 付属の電源コードとACパワーアダプターをつなぐ。



[手順5] 電源プラグをコンセントに差し込む

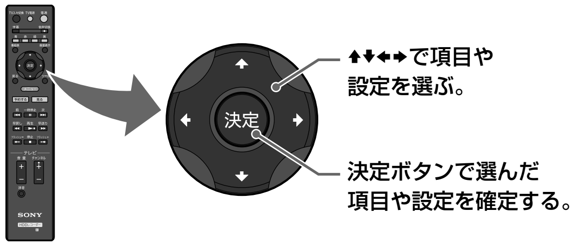
すべての接続が終わってから、電源プラグをコンセントにつなぎます。

電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

[手順6] 初期設定をする(かんたん設定)

ご注意

- かんたん設定は本機に付属のリモコンを使って設定してください。
- かんたん設定を行うときは、本機をテレビの横など、本機のリモコン受光部が見える場所に仮置きしてください。



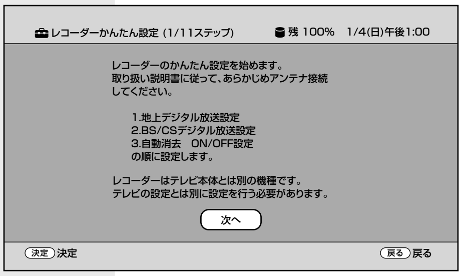
1 **テレビの電源を入れる。**

2 **テレビの入力を本機を接続した入力に切り換える。**

3 **リモコンの電源◯を押して本機の電源を入れる。**

本機の電源を入れ、しばらくすると、かんたん設定画面が表示されます。

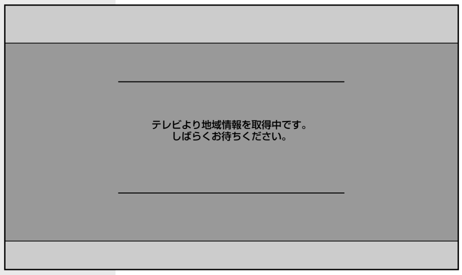
画面1 かんたん設定開始	表示されたメッセージをよくお読みになり、決定を押して、画面に従って設定してください。



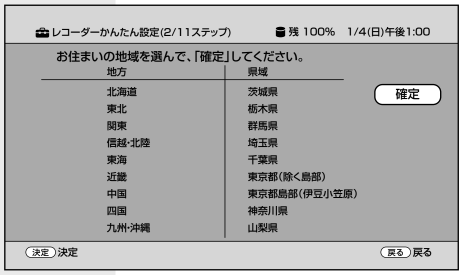
上記画面が表示されないときは、メニューを押して「録画メニュー」画面を表示し、[レコーダー設定]の[かんたん設定]を選んでください。

4 **地上デジタルの受信設定をする(画面2 ～ 5)。**

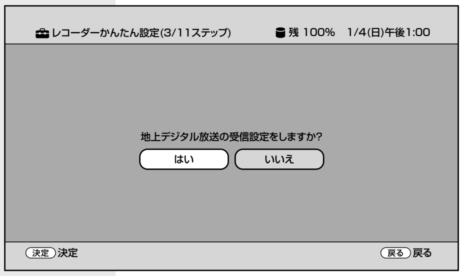
テレビから地域情報を取得する	ソニー製テレビ〈ブラビア〉のチャンネル設定を参考にして、本機の地域情報が自動取得されます。自動で取得されないときは、画面2でお住まいの地域を選んでください。



画面2 受信地域を設定する	お住まいの地域を確認して[確定]を選んでください。自動で取得されないときは、お住まいの地方と県域を選んで[確定]を選んでください。



画面3 地上デジタル受信設定開始	[はい]を選んでください。[いいえ]を選ぶと、地上デジタルの設定をせずに、BS/CSデジタルの受信設定に進みます。



次のページにつづく⇨

[手順6]初期設定をする(かんたん設定)(つづき)

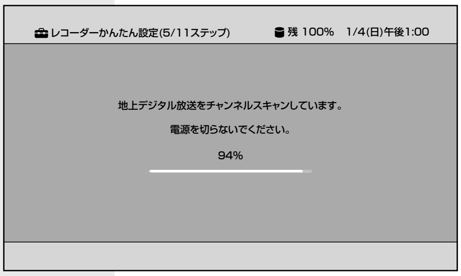
画面4
アンテナを選択する

[UHF]は、UHFアンテナをつないでいるときに選んでください。[CATV]は、ケーブルテレビで地上デジタルが配信されているときに選んでください。



画面5
チャンネルをスキャンする

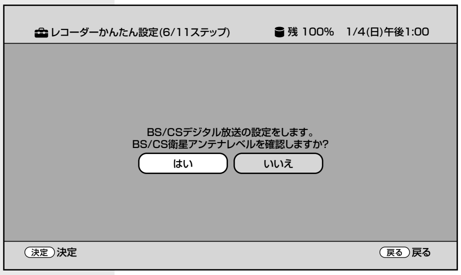
チャンネルスキャンを行って受信しているチャンネルを登録します。



5 BS/CSデジタルの受信設定をする(画面6 ～ 7)。

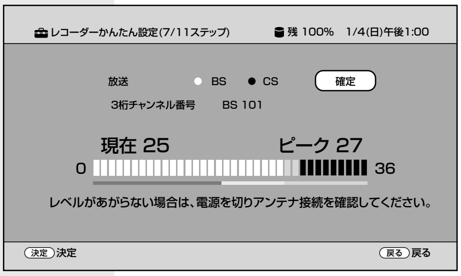
画面6
衛星受信設定開始

[はい]を選んでください。[いいえ]を選ぶと、BS/CSデジタルの受信設定をせずに自動消去設定に進みます。



画面7
アンテナレベルの確認

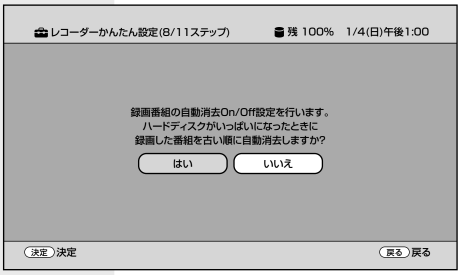
アンテナレベルを確認しながら、衛星アンテナの向きを調整します。できるだけ最大値に近くなるように調整してください。



6 自動消去の設定をする(画面8)。

画面8
自動消去設定

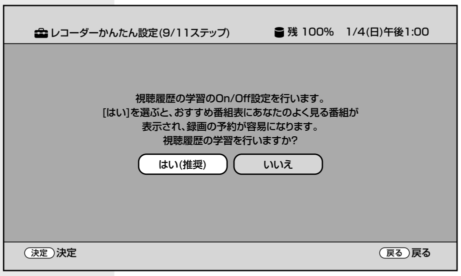
ハードディスクがいっぱいになったときに、録画した番組を古い順に自動消去するかどうかを選んでください。



7 おすすめ番組の設定をする(画面9)。

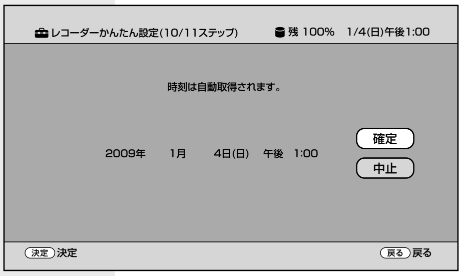
画面9
おすすめ番組設定

おすすめ番組の案内を画面に表示するかどうかを選んでください。



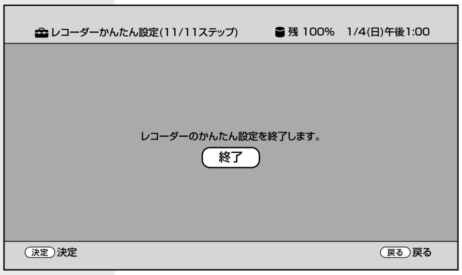
8 時刻の設定をする（画面10）。

画面10 時刻設定	現在の時刻を設定します。自動で設定されないときは、↑↓←→で現在の時刻を入力してください。



9 かんたん設定を終了する（画面11）。

画面11 かんたん設定 終了	(決定)を押してください。かんたん設定が終了します。



[手順7] HDMI機器制御を設定する

本機とソニー製の下記テレビをHDMIケーブルでつなぎテレビの設定を行うと、本機のリモコンで本機とテレビをより快適に操作できます。設定方法はお使いのテレビにより異なりますので、下記をご覧になって設定を行ってください。

対象機種：
KDL-52ZX5/KDL-46ZX5/KDL-52W5/KDL-46W5/KDL-40W5/KDL-46F5/KDL-40F5/KDL-32F5/KDL-46V5/KDL-40V5/KDL-32J5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-55XR1/KDL-46XR1/KDL-40ZX1/KDL-52X1/KDL-46X1/KDL-40X1/KDL-46W1/KDL-40W1/KDL-46F1/KDL-40F1/KDL-32F1/KDL-52V1/KDL-46V1/KDL-40V1/KDL-32J1/KDL-26J1/KDL-20J1/KDL-32JE1/KDL-20M1/KDL-16M1

1 **本機の電源を入れる。**
以下の手順2からは、テレビのリモコンを使って操作してください。

2 **テレビの電源を入れる。**

3 **（ホーム）を押す。**

4 **（設定）→（HDMI機器制御設定）→［HDMI機器制御］の順に選んで、（決定）を押す。**

5 **↑↓で［する］を選んで、（決定）を押す。**

6 **↑↓で［HDMI機器一覧］を選んで、（決定）を押す。**
本機が一覧に表示されていれば、設定は完了です。一覧に表示されなかった場合は、［有効にする］を選んで、（決定）を押してください。

対象機種：
KDL-70X7000/KDL-52X5000/KDL-46X5000/KDL-40X5000/KDL-52X5050/KDL-46X5050/KDL-40X5050/KDL-52V5000/KDL-46V5000/KDL-40V5000/KDL-46V3000/KDL-40V3000/KDL-52W5000/KDL-46W5000/KDL-40W5000/KDL-40J5000/KDL-32J5000/KDL-40J3000/KDL-32J3000/KDL-26J3000/KDL-20J3000

1 **本機の電源を入れる。**
以下の手順2からは、テレビのリモコンを使って操作してください。

2 **テレビの電源を入れる。**

3 **（ホーム）を押す。**

4 **（設定）→（HDMI設定）→［HDMIコントロール］の順に選んで、（決定）を押す。**

5 **↑↓で［する］を選んで、（決定）を押す。**

6 **↑↓で［HDMIコントロール機器一覧］を選んで、（決定）を押す。**
本機が一覧に表示されていれば、設定は完了です。一覧に表示されなかった場合は、［機器認識］を選んで、（決定）を押してください。

[手順8] 電源プラグを抜く

［手順**9**］で本機を移動・設置する前に、以下の手順を行って内蔵ハードディスクを完全に停止させてください。

1 **テレビの電源を切る。**

2 **本機前面の電源スイッチを10秒以上押し続ける。**
電源スイッチを押している途中、電源スイッチのランプが緑色に点灯することがありますが、電源スイッチを押し続けてください。

3 **電源ランプが赤く点灯し、電源が切れていることを確認する。**

4 **アクセスランプが消灯していることを確認してから、電源プラグをコンセントから抜く。**

[手順9] 本機を設置する

テレビの背面に取り付ける方法とテレビの横に設置する方法の2通りがあります。

ご注意

本機を移動･設置する前に、[手順8]で電源プラグをコンセントから抜き、内蔵ハードディスクを完全に停止させてください。

準備

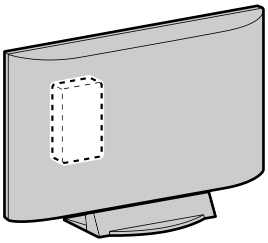
本機をテレビの背面に設置する

下記テレビをお使いの場合、本機をテレビの背面に取り付けることができます(2009年10月現在)。
取り付けられるテレビについて詳しくは、次のホームページをご覧ください。
http://www.sony.jp/support/tv/index.html

1 本機の取り付け位置を確認する。

お使いのテレビの取り付け位置を確認してください。取り付け位置には、ブラケットを取り付けるための穴があります。

例①:背面左に設置



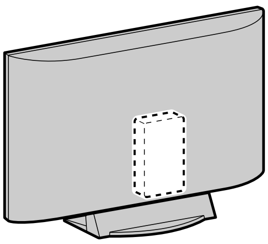
背面左に取り付けられる機種

KDL-52W5/KDL-46W5/KDL-40W5/KDL-46F5/KDL-40F5/KDL-32F5/KDL-46V5/KDL-40V5/KDL-32J5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-55XR1/KDL-46XR1/KDL-52X1/ KDL-46X1/KDL-40X1/KDL-46W1/KDL-40W1/KDL-46F1/KDL-40F1/KDL-32F1/KDL-52V1/KDL-46V1/KDL-40V1/KDL-32J1/KDL-26J1/KDL-20J1/KDL-32JE1/KDL-70X7000/KDL-52X5000/KDL-46X5000/KDL-40X5000/KDL-52X5050/KDL-46X5050/KDL-40X5050/KDL-52V5000/KDL-46V5000/KDL-40V5000/KDL-46V3000/KDL-40V3000/KDL-52W5000/KDL-46W5000/KDL-40W5000/KDL-40J5000/KDL-32J5000/KDL-40J3000/KDL-32J3000/KDL-26J3000/KDL-20J3000

壁に取り付けるときの注意

- 本機を背面左に設置した状態で、KDL-32F5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-26J1/KDL-20J1/KDL-26J3000/KDL-20J3000を壁に取り付けることはできません。
- KDL-70X7000を壁に取り付ける場合は、テレビと壁の設置角度が0度の場合のみ。

例②:背面中央に設置



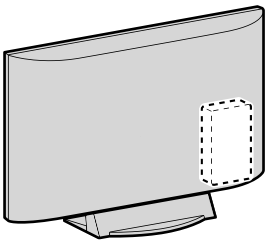
背面中央に取り付けられる機種

KDL-52W5/KDL-46W5/KDL-40W5/KDL-46F5/KDL-40F5/KDL-32F5/KDL-46V5/KDL-40V5/KDL-32J5/KDL-55XR1/KDL-46XR1/KDL-52X1/KDL-46X1/KDL-40X1/KDL-46W1/KDL-40W1/KDL-46F1/KDL-40F1/KDL-32F1/KDL-52V1/KDL-46V1/KDL-40V1/KDL-32J1/KDL-32JE1/KDL-70X7000/KDL-52X5000/KDL-46X5000/KDL-40X5000/KDL-52X5050/KDL-46X5050/KDL-40X5050/KDL-52V5000/KDL-46V5000/KDL-40V5000/KDL-46V3000/KDL-40V3000/KDL-52W5000/KDL-46W5000/KDL-40W5000/KDL-32J5000/KDL-32J3000

壁に取り付けるときの注意

- KDL-70X7000のみは、本機を背面中央に設置した状態でも壁掛けできます。
- KDL-70X7000を壁に取り付ける場合は、テレビと壁の設置角度が5度、10度、15度、20度の場合のみ。

例③:背面右に設置



背面右に取り付けられる機種

KDL-70X7000

壁に取り付けるときの注意

KDL-70X7000を壁に取り付ける場合は、テレビと壁の設置角度が0度の場合のみ。

ご注意

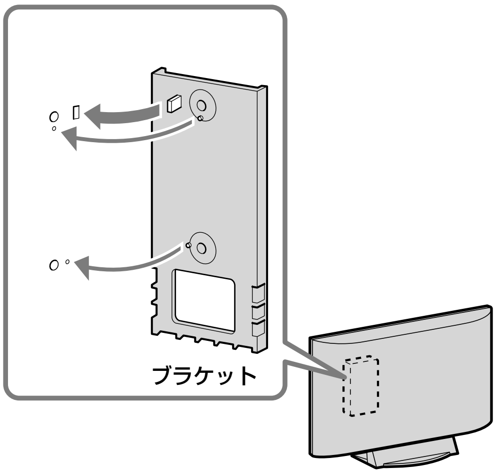
本機をテレビの背面に設置している場合、周囲環境などの影響によりマルチリモコンが効きにくくなることがあります。この場合は、本機をテレビの横や下に置いて、マルチリモコンが操作できる位置に移動してください(25ページ)。

次のページにつづく⇨

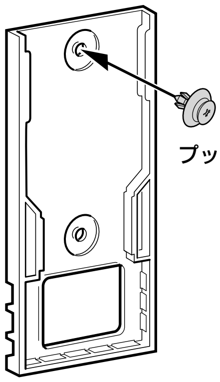
[手順9]本機を設置する(つづき)

2 ブラケットをテレビに取り付ける。

❶ テレビ背面の四角い穴と、ブラケットの四角い突起を合わせるようにして取り付ける。

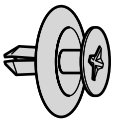


❷ 付属のプッシュナット(ねじ)2本をブラケットのねじ穴にしっかりと押し込む。
ねじ穴にプッシュナットを押し込むだけで、ブラケットを固定できます。プッシュナットとブラケットの間の隙間がなくなるまで押し込んでください。



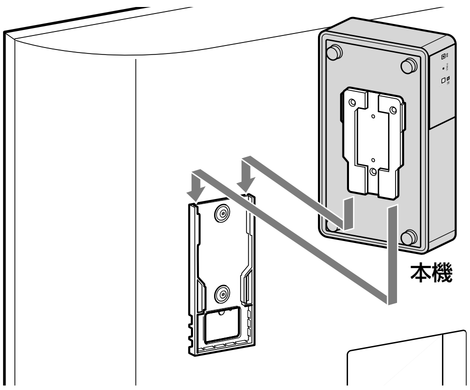
ご注意

- プッシュナット(ねじ)を押し込むときは、テレビが転倒しないように充分ご注意ください。
- プッシュナットを押し込むときは、下図のように、ねじの頭が押し込まれていないことを確認してねじ穴に押し込んでください。
- 指で押し込めないときは、ドライバーで回しながら押し込んでください。

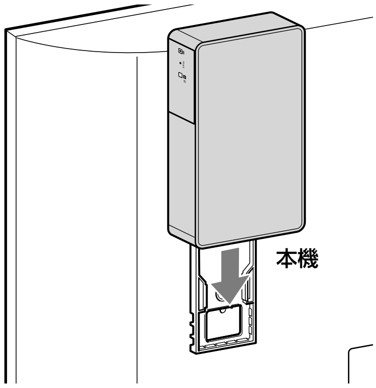


3 本機をテレビに取り付ける。

❶ 本機を両手で持ちながら、ブラケットの溝に本機の底面を合わせる。



❷ 本機が動かなくなるまで、ゆっくりと下にずらす。

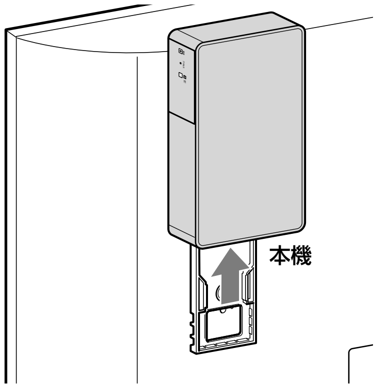


ご注意

- テレビの背面に本機を取り付けている状態でテレビを移動させるときは、本機を取りはずしてから移動させるようにしてください。テレビに取り付けている状態で本機に手をかけて移動させると、本機がずり落ちたりします。
- テレビがすでに壁に取り付けられているときは、テレビを一度はずしてから本機を取り付けてください。

本機を取りはずすには

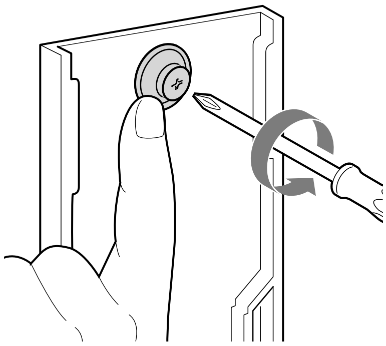
本機を下図矢印の方向にゆっくりと引き上げてください。



ブラケットを取りはずすには

ブラケットを取りはずすときは、ドライバーでプッシュナット(ねじ)をゆるめて引き抜いてください。
プッシュナットの外周が回るときは、手で押さえてください。

プッシュナット(ねじ)の取りはずしかた



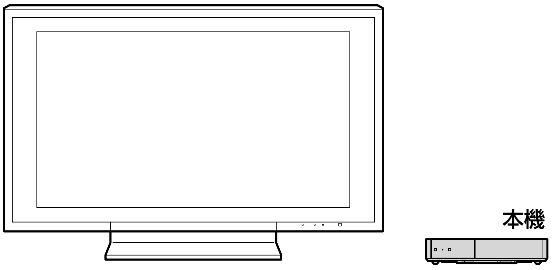
ちょっと一言

ドライバーでプッシュナットを左に回すと、ねじの頭を引き出せます。

本機をテレビの横に設置する

本機はテレビスタンドや机などに横置きすることができます。

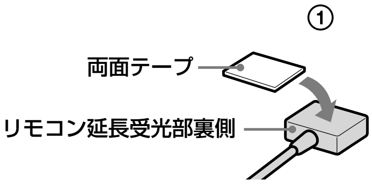
テレビの横に設置する。



[手順10] リモコン延長受光部を取り付ける

リモコン延長受光部を取り付けると、本機前面のリモコン受光部が無効になります。テレビの横などに配置するときは、リモコン延長受光部は接続しないでください。

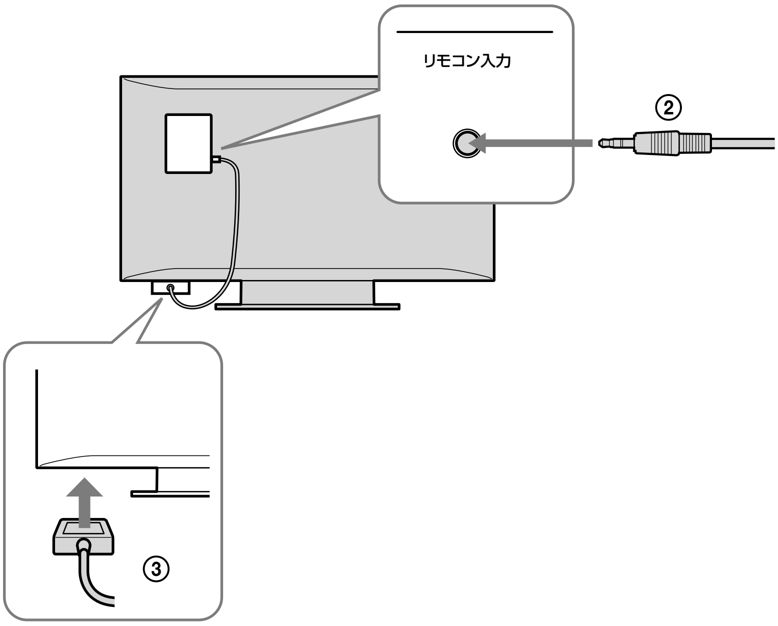
1 **リモコン延長受光部に両面テープ(付属)を貼る(①)。**



2 **リモコン延長受光部を本機後面のリモコン入力端子につなぐ(②)。**

3 **リモコン延長受光部の両面テープをはがし、テレビに固定する(③)。**

リモコン受光部の正面がリモコン操作時に見える位置に固定してください。



以下の場合はリモコン延長受光部の取り付けが不要です

本機に付属のリモコンを使用せずに、以下のテレビに付属のマルチリモコンで本機を操作する場合は、リモコン延長受光部を取り付ける必要はありません。

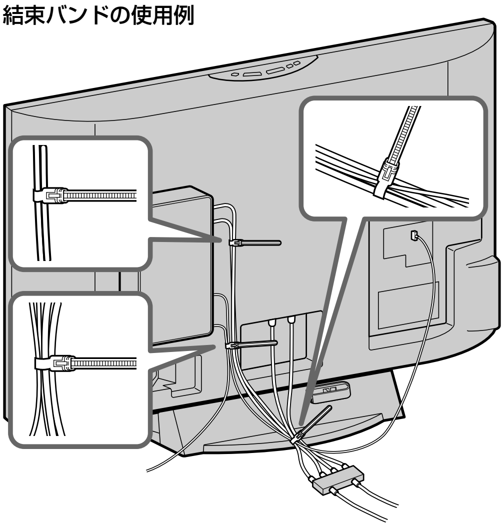
対応機種名

KDL-52ZX5/KDL-46ZX5/KDL-52W5/KDL-46W5/KDL-40W5/KDL-46F5/KDL-40F5/KDL-32F5/KDL-46V5/KDL-40V5/KDL-55XR1/KDL-46XR1/KDL-40ZX1/KDL-52X1/KDL-46X1/KDL-40X1/KDL-46W1/KDL-40W1/KDL-46F1/KDL-40F1/KDL-32F1/KDL-52V1/KDL-46V1/KDL-40V1/KDL-32J1/KDL-32JE1/KDL-70X7000/KDL-52X5000/KDL-46X5000/KDL-40X5000/KDL-52X5050/KDL-46X5050/KDL-40X5050/KDL-52W5000/KDL-46W5000/KDL-40W5000/KDL-52V5000/KDL-46V5000/KDL-40V5000

[手順11] ケーブルを束ねる

本機に付属の結束バンドを使って、ケーブル類をすっきりまとめられます。下の図のように結束バンドを使って接続したケーブルをまとめてください。

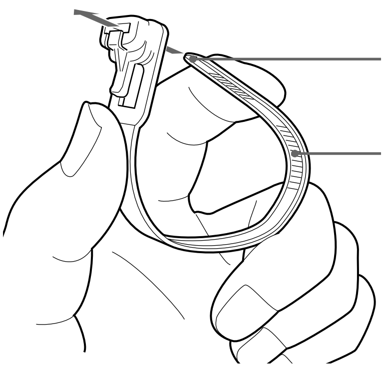
結束バンドの使用例



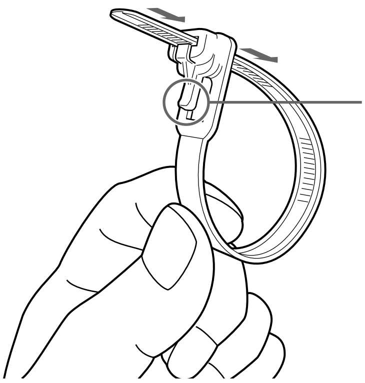
結束バンドの着脱方法

結束バンドは再利用できます。

取り付け時



取りはずし時



[手順12] 電源プラグをコンセントに差し込み直す

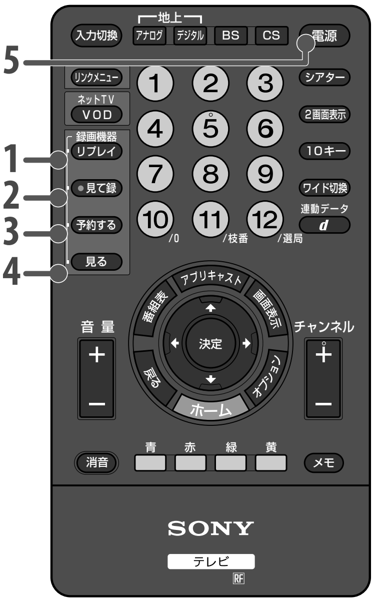
本機の設置が終わったら、もう一度電源プラグをコンセントにつなぎます。
電源プラグをコンセントの奥までしっかり差し込んでください。

[手順13] ブラビアリンクを利用するための設定をする

ブラビアリンクでできること

本機とブラビアリンクに対応しているソニー製テレビをつなぐと、テレビのリモコンを使って本機を簡単に操作できます。テレビのリモコンで本機を操作するには、29ページの設定を行ってください。
ブラビアリンクについて詳しくは、お使いのテレビに付属の取扱説明書をご覧ください。

ソニー製テレビ〈ブラビア〉に付属のリモコンでできること

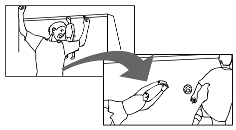


対象機種：
KDL-52ZX5/KDL-46ZX5/KDL-52W5/KDL-46W5/KDL-40W5/KDL-46F5/KDL-40F5/KDL-32F5/KDL-46V5/KDL-40V5/KDL-55XR1/KDL-46XR1/KDL-40ZX1/KDL-52X1/KDL-46X1/KDL-40X1/KDL-46W1/KDL-40W1/KDL-46F1/KDL-40F1/KDL-32F1/KDL-52V1/KDL-46V1/KDL-40V1/KDL-32J1/KDL-32JE1/KDL-70X7000/KDL-52X5000/KDL-46X5000/KDL-40X5000/KDL-52X5050/KDL-46X5050/KDL-40X5050/KDL-52V5000/KDL-46V5000/KDL-40V5000/KDL-52W5000/KDL-46W5000/KDL-40W5000**に付属のマルチリモコン**[*1]



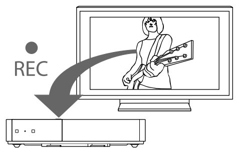
対象機種：
KDL-32J5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-26J1/KDL-20J1/KDL-46V3000/KDL-40V3000**に付属のリモコン**[*2]

1 リプレイ



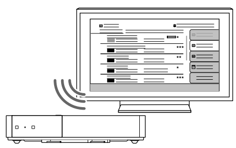
見逃した場面をもう一度再生。

2 見て録



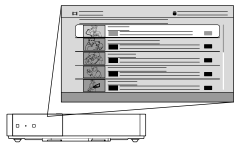
テレビを見ているときに押すと、見ている番組を本機で録画。

3 予約する



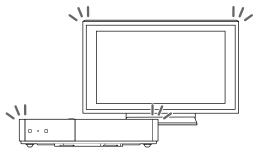
本機の録画予約画面を表示。スムーズに予約設定を開始。

4 見る



本機の録画リストを表示。番組を選べば再生開始。

5 電源



テレビの電源を切ると、本機も連動して電源が切れる。

*1 本ページで使われているマルチリモコンのイラストは、KDL-40W1/KDL-46W1のものです。
*2 本ページで使われているリモコンのイラストは、KDL-20J1/KDL-26J1のものです。

ご注意

本機のリモコンのメニューボタンでの操作は、〈ブラビア〉のリモコンではホームボタンで行います。本機のリモコンのツールボタンでの操作は、〈ブラビア〉のリモコンではオプションボタンで行います。

テレビに付属のリモコンを登録する

あらかじめ22ページの「[手順7] HDMI機器制御を設定する」をご覧になり、HDMI機器制御を設定してください。
お使いのテレビの機種によってリモコンが異なりますので、ご注意ください。

マルチリモコンを登録する

対象リモコン：KDL-52ZX5/KDL-46ZX5/KDL-52W5/KDL-46W5/KDL-40W5/KDL-46F5/KDL-40F5/KDL-32F5/KDL-46V5/KDL-40V5/KDL-55XR1/KDL-46XR1/KDL-40ZX1/KDL-52X1/KDL-46X1/KDL-40X1/KDL-46W1/KDL-40W1/KDL-46F1/KDL-40F1/KDL-32F1/KDL-52V1/KDL-46V1/KDL-40V1/KDL-32J1/KDL-32JE1/KDL-70X7000/KDL-52X5000/KDL-46X5000/KDL-40X5000/KDL-52X5050/ KDL-46X5050/KDL-40X5050/KDL-52V5000/KDL-46V5000/KDL-40V5000/KDL-52W5000/KDL-46W5000/KDL-40W5000に付属のマルチリモコン

1 テレビの電源を入れる。

本機の電源が連動して入ります。

本機の電源がすでに入っているときは、テレビの電源を一度切ってから電源を入れなおしてください。

下記手順2～5の操作は手順1で本機の電源を入れてから5分以内に行ってください。

2 マルチリモコンのふたの中の録画機器（録画機器）を先に押しながら、（戻る）を押し続ける。

録画機器ボタンが早く点滅するまで押し続けてください。

3 録画機器（録画機器）が点滅している間に、②を押す。

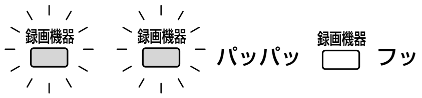
30秒間経過すると消灯します。消灯するまでの間に、②（数字ボタン）を押してください。

手順2で押した録画機器ボタンが点灯します。

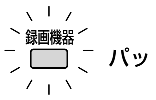
4 マルチリモコンを本機に近づける。

5 決定を押す。

正しく登録されたとき
録画機器ボタンが2回点滅して消灯



登録されなかったとき
録画機器ボタンが点灯し続ける



登録されなかったときは、もう一度決定を押して、本ページ下の「マルチリモコンの登録ができなかったときは」の手順に従って再登録してください

マルチリモコンの登録ができなかったときは

1 テレビ本体の電源スイッチを押して電源を切る。

2 本機前面の電源スイッチを10秒以上押し続ける。

強制的に電源が切れます。電源スイッチを押している途中、電源スイッチのランプが緑色に点灯することがありますが、電源スイッチを押し続けてください。

3 左記「マルチリモコンを登録する」の手順1～5を行う。

ご注意

- 録画中に強制的に電源を切ると、録画中の番組が保存されません。録画が終わってから操作してください。
- マルチリモコンの操作ができないときは、もう一度マルチリモコンの登録を行ってください。

次のページにつづく⇨

準備

リモコンを登録する

対象リモコン:KDL-32J5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-26J1/KDL-20J1/KDL-46V3000/KDL-40V3000に付属のリモコン

1 **リモコンのふたの中の録画機器(録画機器)を先に押しながら、画面表示(画面表示)を押す。**

録画機器ボタンが点滅します。

2 **録画機器(録画機器)が点滅している間に、登録したいリモコンモードに対応した登録番号(3桁)を押す。**

本機の本体側のリモコンモード	手順2で入力する登録番号
HDD1	201
HDD2	202
HDD3*	203

* 本機のお買い上げ時の設定

お買い上げ時の本機の本体側のリモコンモードの設定は「HDD3」です。本体のリモコンモードを変更していないときは「203」を入力してください。

0は⑩です。「203」と入力するときは、リモコンの②、⑩、③を順番に押してください。

入力が完了すると、録画機器ボタンが点灯します。

3 **決定を押す。**

正しく登録されたときは、録画機器ボタンが2回点滅して消灯します。

登録されなかったときは、5回点滅します。手順**1**からもう一度やり直してください。

ちょっと一言

本体のリモコンモードは[本体設定]の[リモコンモード]で変更できます(61ページ)。

ご注意

リモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、登録したリモコンモードが消えることがあります。もう一度登録しなおしてください。

リモコンの操作ができないときは、もう一度リモコンの登録を行ってください。

本機の電源の「入」「切」について

本機はシステム全体の最適化を図るため、電源「入」「切」時に電源ボタンを押してから、実際に起動するまでと実際に電源が切れるまでしばらく時間がかかります。

ご注意

本機の電源が「切」の状態でも、ハードディスクや冷却ファンが動作することがあります。本機を移動·設置する場合は、必ずアクセスランプが消灯していることを確認してから、電源コードを抜いてください。詳しくは「電源プラグをコンセントから抜くときやACパワーアダプターを本機から取りはずすときは」（11ページ）をご覧ください。

HDMI機器制御機能が働く場合

以下の3点を満たすとHDMI機器制御が働きます。

- テレビがHDMI機器制御に対応している
- テレビ側の設定で[HDMI機器制御]が[する]になっている
- 本機の[レコーダー設定]－[本体設定]－[HDMI機器制御]が[入]になっている

テレビの電源に本機の電源も連動して「入」「切」します。

テレビの電源は、本機のリモコンの TV電源 または、テレビのリモコンの電源ボタンで「入」「切」してください。

ご注意

本機の電源はテレビの電源に連動していますので、テレビの電源が入っている状態のときには、本機のリモコンの電源ボタンおよび本機前面の電源スイッチで本機の電源を切ることはできません。



テレビの電源に連動して本機の電源が、「入」「切」します。

ちょっと一言

テレビの電源とは連動させずに、本機のリモコンの電源ボタンや本機前面の電源スイッチで、本機の電源を「入」「切」したいときは、本機の[レコーダー設定]－[本体設定]－[HDMI機器制御]を[切]にしてください。または、テレビのHDMI機器制御を[しない]に設定してください。

HDMI機器制御機能が働かない場合

以下のいずれかが当てはまると、HDMI機器制御は働きません。

- テレビがHDMI機器制御に対応していない
- テレビ側の設定で[HDMI機器制御]が[しない]になっている
- 本機の[レコーダー設定]－[本体設定]－[HDMI機器制御]が[切]になっている

本機の電源はテレビの電源と連動しません。

本機の電源は、本機のリモコンの 電源 または、本機前面の電源スイッチを押して「入」「切」してください。

テレビの電源は、本機のリモコンの TV電源 または、テレビのリモコンの電源ボタンで「入」「切」してください。



本機の電源を「入」「切」します。

テレビの電源を「入」「切」します。

ご注意

- 「予約する」「見る」ボタンなど、本機の操作をしたいときは、テレビの入力切換を、本機が接続されているHDMI入力に切り換えてください。
- 「見て録」「リプレイ」は利用できません。

基本的な使いかた

ブラビアリンクまたはHDMI機器制御に非対応のテレビに接続してご利用になる場合は、テレビの入力を本機が接続されているHDMI入力に切り換えてください。

録画した番組の再生

見る を押す



再生したい番組を選び、決定 を押す

録画番組リスト



- 録画番組リストの番組は録画順に並んでいます。
- リストのページ戻しは 青 、ページ送りは 赤 でできます。

録画番組リストの便利な機能

スター設定

録画番組リストで 緑 を押すと番組の評価ができます。

番組の評価内容によっておすすめ番組表で表示される番組が変わってきます。



プロテクト（消去防止）

録画番組リストで 黄 を押すと番組の消去防止／保護解除ができます。

見終わった番組の消去

録画番組リストで ツール を押して[消去]を選ぶと、番組を消すことができます。





再生中のいろいろな操作



早送り、早戻ししたいときは



➡ で早送り

⬅ で早戻し

一時停止したいときは



再生中に 決定 で一時停止

もう一度 決定 で再生

停止したいときは



再生中に 戻る で停止

見る を押すと録画番組リストに戻ります。

ブラビアリンクまたはHDMI機器制御に非対応のテレビに接続してご利用になる場合は、テレビの入力を本機が接続されているHDMI入力に切り換えてください。

本機の番組表を使って録画予約する

本機では、おすすめ番組表、番組表、日時指定予約の3つの方法で、番組を録画予約することができます。

録画したい番組の種類にあわせて、録画予約する番組表を使い分けてください。

ご注意

本機の接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表データを受信するまでは番組表に番組は表示されません。番組表データの受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに1日程度かかることもあります。

予約する を押す



基本的な使いかた

おすすめ番組表

よく見る番組やスター設定した番組を自動的に一覧表示します。



こんなときに便利な番組表です！

- 放送中の番組を録画したいとき
- もうすぐ始まる番組を録画したいとき
- よく見る番組を録画したいとき

番組表

各放送局で放送されている番組を、時間ごとに一覧で確認することができます。



前日は 緑 、翌日は 黄 で表示できます。

各放送の番組表は、番組表の入り口ボタンを押して、表示します。

地上デジタル　BSデジタル　CSデジタル

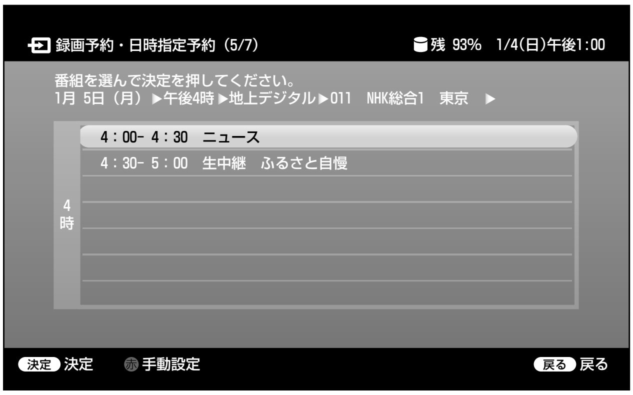
番組の選択方法を選ぶ



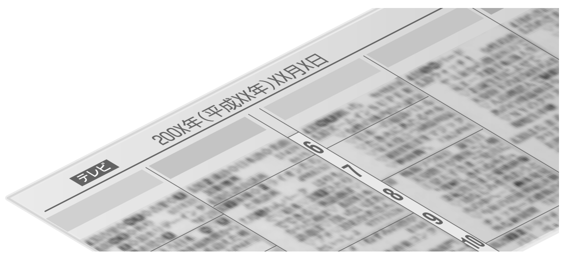
日時指定予約

放送される日付や時間があらかじめわかっている番組を録画するときに、日時指定予約を使います。新聞や雑誌で見つけた番組を録画したいときに便利です。





日にち、時間、放送、チャンネルをガイドにしたがって入力すると、該当する番組が一覧（右図）で表示されます。一覧から番組を選ぶだけで、録画の予約ができます。



ブラビアリンク対応のソニー製テレビ*に接続したときに利用できる機能の説明です。

ブラビアの番組表を使って録画予約する

〈ブラビア〉*の番組表から番組を選んで、本機への録画予約ができます。

ブラビアの番組表



番組を選んで録画予約する



1 ［HDMI機器］を選ぶ
2 ［録画予約］を選ぶ

＊ 対応機種は以下のとおりです（2009年10月現在）。
KDL-46V5/KDL-40V5/KDL-32J5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-55XR1/KDL-46XR1/KDL-52X1/KDL-46X1/KDL-40X1/KDL-52W5/KDL-46W5/KDL-40W5/KDL-46F5/KDL-40F5/KDL-32F5/KDL-52ZX5/KDL-46ZX5

録画予約の確認

本機の予約リストで録画予約を確認できます。



〈ブラビア〉から本機に転送された録画予約は、日時指定予約で表示されます。番組名は表示されません。
予約の修正や削除は本機で行ってください。

ご注意

- 〈ブラビア〉の番組説明画面で［録画予約］を選んですぐに他の画面に切り換えると、「設定を中止します。……」というメッセージが表示されます。本機の予約リストで録画予約できているか確認してください。
- 録画予約したときに、「予約設定しましたが、一部録画できない場合があります。録画機器側で確認してください。」というメッセージが表示された場合は、録画予約が重複、または無効になっています。予約リストを確認して、録画予約が重ならないようにしてください。

ブラビアリンク対応のソニー製テレビに接続したときに**テレビに付属のリモコン**から利用できる機能の説明です。
詳しくは55 ～ 57ページをご覧ください。

ブラビアのリモコンでできる便利な操作　Q&A

テレビに付属のリモコンでの操作です。

Q1　見ている番組をすぐに録画したいときは？　見て録

A　●見て録 を押す。

見ているチャンネルをすぐに録画できます。
- 録画時間は2時間です。
- 2時間以内に録画を停止したいときは「見て録停止」ボタンを押してください。

Q2　番組をすぐに録画予約したいときは？

A　予約する を押し、おすすめ番組表を開く。

おすすめ番組表の最初に、見ていたチャンネルの番組が表示されます。
↑↓で選択して、決定で録画予約してください。
番組が終わると録画も停止します。

Q3　見ている番組を数秒前に戻って場面を見たいときは？　リプレイ

A　リプレイ を押してから、▶または決定を押す。

Q4　テレビに戻るには？

A　チャンネルボタン(①～⑫)を押す、または見ていた放送のボタン(デジタル / BS / CS)を押す。

使用する前にお読みください

制約事項・注意事項について

- 録画モードに関わらず、1つの番組の連続録画最長時間は、約8時間です。
- 本機に録画できる最大番組数は300番組です。ハードディスクの残量がなくなると最大数まで録画できません。
- 本機では、DRモードで録画したときのみ複数の音声信号が記録されます。
- 本機では電源の入／切に関わらず、録画予約した録画開始時刻になると録画が始まります。また録画中に電源を入／切しても、録画に影響はありません。
- 「見て録」「リプレイ」ボタンで録画を開始しても、すぐに録画が始まらないことがあります。
- 録画可能時間は目安としてご覧ください。実際の録画可能時間は、放送や映像により異なります。
- 停電があった場合は録画されません。本機からのメールを確認してください。
- 番組連動データは録画されません。
- 地上デジタルのデータ放送や、BS/110度CSデジタルのラジオ放送とデータ放送は録画できません。
- 休止中のチャンネルは番組表に表示されません。
- CATV独自の番組は番組表に表示されません。
- CATVのVHF/UHF放送の番組は表示できない場合があります。ご利用のCATV局にお問い合わせください。
- デジタル放送の予約では、番組放送時間が変更になった場合でも時間変更に対応して録画することができますが、放送の状況によっては時間変更の検出が遅れることがあります。このとき、番組の先頭が録画されていない場合があります。
- テレビ番組を見ているときに、録画予約で設定した録画番組が開始されると、録画リストに切り換わることがあります。
- データ放送は視聴できません。
- 双方向サービスはご利用になれません。
- 人の声と音楽が入っている録画番組をゆっくり再生する場合、聞き取りにくい場合があります。
- [録画1]ではDR以外の録画モードで録画した番組は、字幕表示できません。[録画2]で録画した番組は字幕表示できます。
- 本機からのHDMI出力信号は、テレビに入力して視聴する以外の用途には対応しておりません。
- AVアンプのHDMI端子に本機を接続した場合、本機の録画番組リストにサムネイルが作成されず、サムネイル部分にフィルムマークが表示される場合があります。

テレビとの連携動作に関するご注意（連携動作ができるテレビをお持ちの場合）

- お買い上げ時や、新しいテレビと接続されたときには、テレビとの連携動作ができない状態となっている場合があります。テレビの電源が入っている状態で、本機の電源スイッチを押し、手動で電源を入れていただくことで、連携動作が可能な状態になります。
- テレビにHDMI機器制御対応の録画機器をつなぐと、最大3台まで機器制御できます。4台目をつないだ場合、４台目は機器制御できません。
- AVアンプのHDMI端子に本機を接続した場合、リプレイができない場合があります。

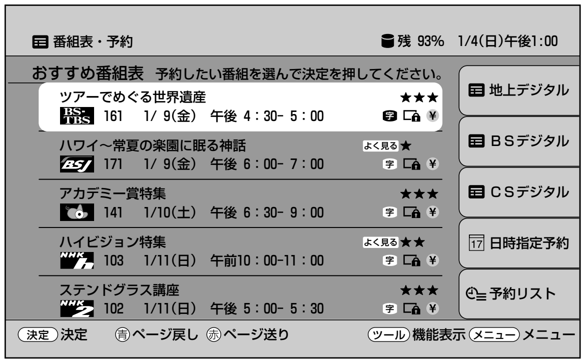
おすすめ番組表から番組を選んで録画する



テレビの視聴履歴や本機の録画履歴をもとに、本機がおすすめする番組を一覧で表示します。また、スター設定したジャンルの番組を自動的に検索して、おすすめ番組表に表示します（50ページ）。このリストから録画したい番組を選び、録画できます。

1 予約する（予約する）を押す。

2 ↑↓で録画したい番組を選び、決定を押す。



3 ←→で［録画予約］を選び、決定を押す。



4 ↑↓←→で［予約確定］を選び、決定を押す。

予約設定内容を変更したいときは「予約設定内容を変更するには」（次ページ）をご覧ください。



次のページにつづく ⇨

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に⏻が表示されます。
同じ時間帯に予約が重複している場合は、確認画面が表示されます。

ご注意

予約可能な番組数は、最大40件です。また、録画リストに表示される番組数は、最大300件です。

予約設定内容を変更するには

予約設定内容を変更したいときは、「おすすめ番組表から番組を選んで録画する」（39ページ）の手順**4**の画面で設定を変更することができます。
↑↓で設定欄を選んで決定を押し、←→で変更したい設定項目を選んでください。↑↓で設定します。

録画予約画面



A 録画
[録画1]か[録画2]どちらかを選びます。

B 更新
毎回録画を設定したときに[入]に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します。

C 毎回録画
毎日放送される番組などを毎回録画します（毎日、月-土など）。
毎回録画は設定した日の番組から実行されます。

D 詳細設定
記録する映像と音声の信号が複数ある場合、どの信号を記録するか選択できます。
録画モードでDR以外を選んでいるときのみ設定できます。

E 使用HDD領域（使用データサイズ）
HDDの使用領域とデータサイズを表示します。

F 録画モード
[録画1]、[録画2]の録画モードが表示されます。[録画1]は4種類の録画モードから選択できます。DRLモードは、動きの激しい映像を録画するときに画像が乱れることがあります。

[録画1]で選べる録画モード

録画モードと画質		録画可能時間（目安）	
		BRX-A320	BRX-A500
DR	地上デジタル放送（HD画質）	約39時間	約61時間
	BS・110度CSデジタル放送（HD画質）	約27時間	約42時間
	地上・BS・110度CSデジタル放送（SD画質）	約55時間	約86時間
DRS（HD画質）		約71時間	約111時間
DRL（HD画質）		約90時間	約141時間
LP（SD画質）		約249時間	約390時間

[録画2]で選べる録画モード

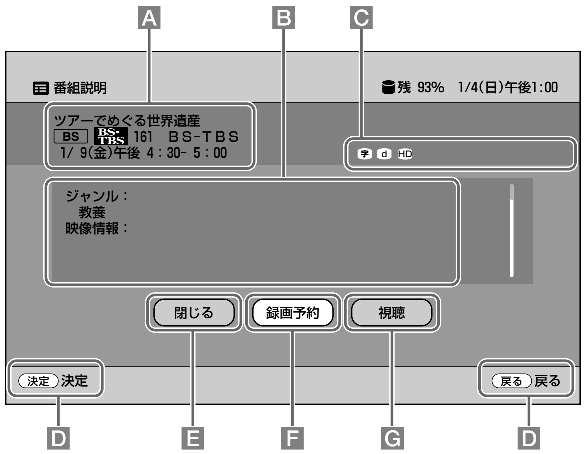
録画モードと画質		録画可能時間（目安）	
		BRX-A320	BRX-A500
DR*	地上デジタル放送（HD画質）	約39時間	約61時間
	BS・110度CSデジタル放送（HD画質）	約27時間	約42時間
	地上・BS・110度CSデジタル放送（SD画質）	約55時間	約86時間

＊ [録画2]の録画モードは常に[DR]に設定されており、変更することはできません。

ご注意

動画の動きによって録画時間が変わります。

番組説明画面の見かた



A 番組・放送局名・放送時間

B 番組の情報
出演者や、映像情報、音声情報、ジャンル、データ情報などの番組の詳しい内容が表示されます。↑↓で情報をスクロールすることができます。

C マーク
放送サービスの種類などがマークで表示されます。

マークの意味
- 字：字幕放送
- d：テレビやラジオと連動しているデータ放送
- HD：デジタルハイビジョン信号HD
- 年齢表示：視聴年齢制限付き番組

D 操作ガイド
番組説明画面で行う操作に使うボタンを表示します。

E 閉じる
番組説明画面を終了し、元の番組表に戻ります。

F 録画予約／予約修正
予約設定画面を表示します。既に予約しているときは、予約の修正･消去ができます。予約修正･消去は[予約リスト]からのみ行えます(47ページ)。

G 視聴
現在放送中の番組のみ選べます。

録画を停止するには

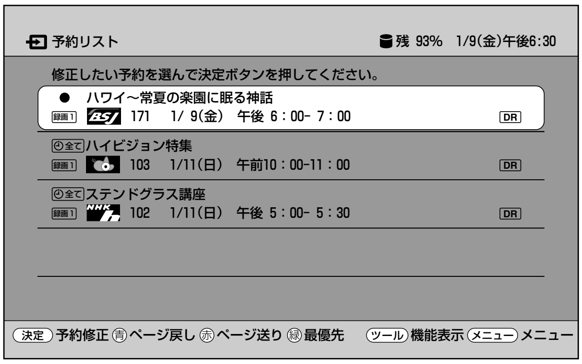
録画の停止は予約リストを使って行います。

1 見る(見る)を押す。

2 ツール ●(ツール)を押す。

3 ↑↓で[予約リスト]を選び、決定を押す。

4 ↑↓で録画中の番組を選び、決定を押す。

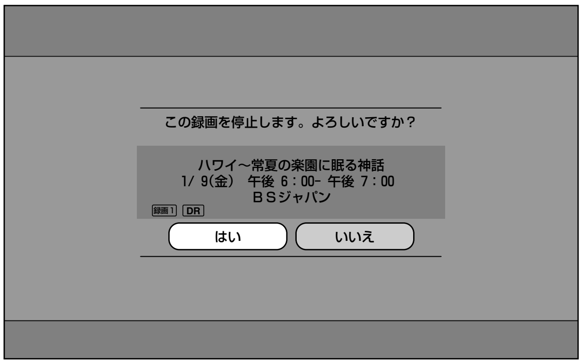


録画中の番組には●(赤)が表示されています。

5 [録画停止]を選び、決定を押す。



6 録画停止確認画面で[はい]を選び、決定を押す。



録画が停止するまでに10秒ほどかかることがあります。

録画の状態によっては通常よりも時間がかかる場合があります。

複数の音声信号を記録するには

本機では、DRモードで録画したときのみ複数の音声信号が記録されます。

ちょっと一言

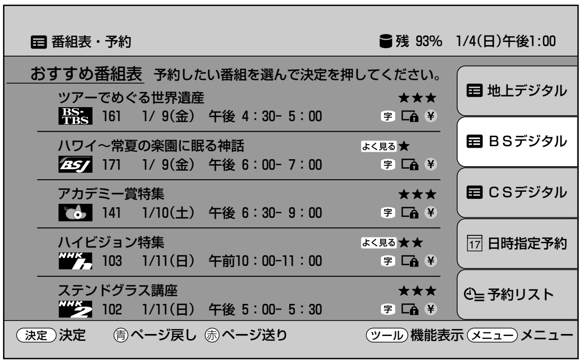
- デジタル放送では、音声信号が複数ある番組があり、これらの音声信号を第1音声、第2音声と呼びます。第1音声信号に主＋副音声が送られたり、第1音声(日本語)、第2音声(英語)などのように送られる場合があります。
- 録画モードがDR以外のときは、記録する音声信号を録画予約画面の[詳細設定]で選べます(42ページ)。

番組表から番組を探して録画する

番組表から録画したい番組を選ぶだけで、録画予約を設定できます。
各放送のサービスごとに番組表が用意されています。視聴したい放送の番組表を選んでから番組表を使ってください。

1 [予約する]（予約する）を押す。

2 ↑↓←→で録画したい放送の種類を選び、決定を押す。



3 ↑↓←→で録画したい番組を選び、決定を押す。



4 ←→で［録画予約］を選び、決定を押す。

5 ↑↓で設定欄を選び、決定を押す。

6 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。



7 ［予約確定］を選び、決定を押す。

予約設定完了画面が表示されて、自動的に番組表に戻ります。
予約した番組は、番組表に◷が表示されます。

ご注意

番組表の番組表示は、8日先まで表示します。

番組表の見かた



A　マーク
▎:予約時間帯
●（赤）:録画中
◷:録画予約
◷:一部しか録画されない録画予約、または無効な録画予約
¥:有料番組

B　放送名

C　放送日時

D　チャンネル番号・ロゴ

E　操作ガイド
画面で行う操作に使うボタンを表示します。

F　放送時間・番組名
放送予定の番組を表示します。

録画予約設定でできること

項目	設定
録画	［録画1］か［録画2］どちらかを選びます。［録画1］と［録画2］ではできることが異なります（40ページ）。
更新	毎回録画を設定したときに［入］に設定すると前回録画したものを消して、毎回更新しながら録画します。
毎回録画	毎日放送される番組などを毎回録画します（毎日、月-土など）。毎回録画は設定した日の番組から実行されます。
録画モード	録画モードを変更します。［録画］項目で［録画2］を選ぶと録画モードは［DR］に設定されます。
詳細設定	記録する信号を選択します。録画モードがDR以外のときに設定します。

録画を停止するには

予約リストから録画を停止します。詳しくは「録画を停止するには」（41ページ）をご覧ください。

番組表をはじめて使うときのご注意

本機の接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表データを受信するまでは番組表に番組は表示されません。番組表データの受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに1日程度かかることもあります。

ブラビアの番組表から番組を探して録画するには

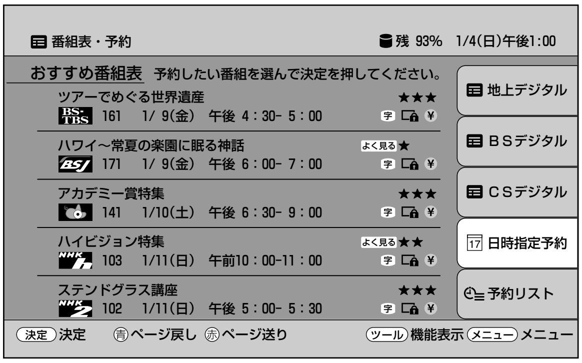
ソニー製テレビ〈ブラビア〉の機種によっては、〈ブラビア〉の番組表から番組を探して、本機への録画予約を設定できます。
詳しくは、「ブラビアの番組表を使って録画予約する」（36ページ）をご覧ください。

日時指定で番組を探して録画する

録画したい日付、時間、チャンネルを選び、録画予約できます。

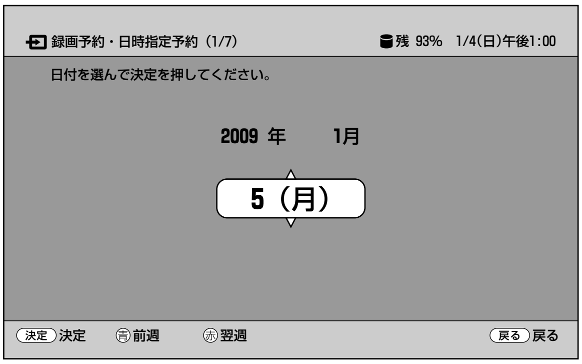
1 予約する（予約する）を押す。

2 ↑↓←→で[日時指定予約]を選び、決定を押す。

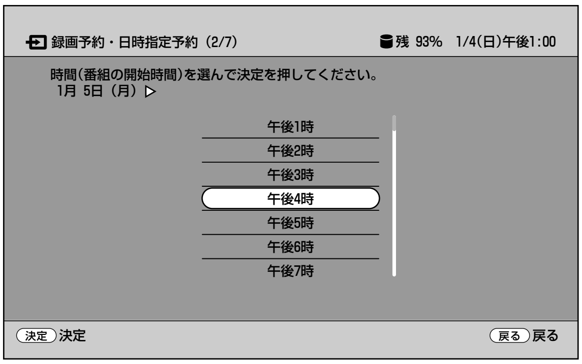


3 ↑↓で録画したい日付を選び、決定を押す。

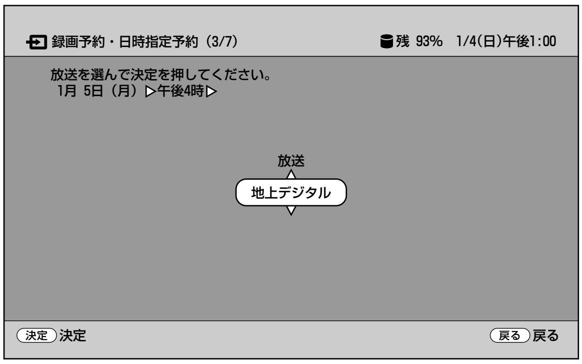
30日先の日付まで選ぶことができます。



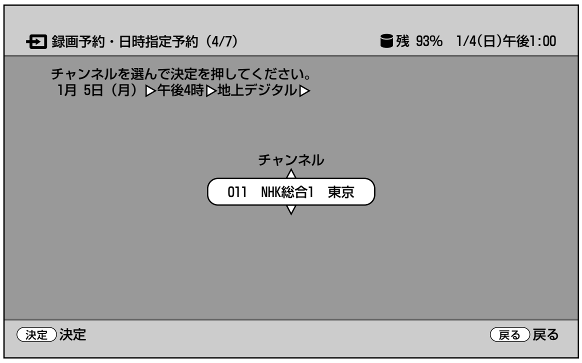
4 ↑↓で時間（番組の開始時間）を選び、決定押す。



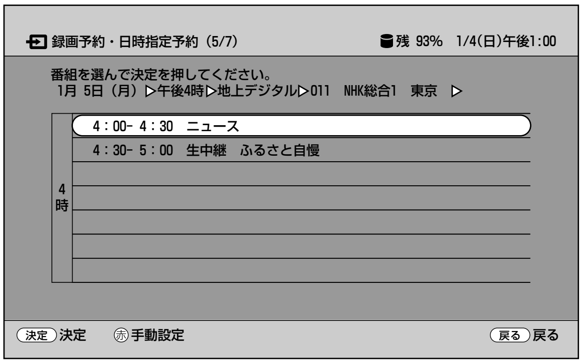
5 ↑↓で放送の種類を選び、決定を押す。



6 ↑↓でチャンネルを選び、決定を押す。



7 ↑↓で録画したい番組を選び、決定を押す。



8 ←→で[録画予約]を選び、決定を押す。

9 ↑↓で設定欄を選び、決定を押す。

10 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。

11 [予約確定]を選び、決定を押す。

9日以上先の番組は番組表が表示されないので、手動で設定します。

録画予約画面で、←→で各設定項目を選び、↑↓で設定します。

日時を手動設定して録画予約するには

1 「日時指定で番組を探して録画する」(44ページ)の手順7で赤(赤)を押す。

2 ↑↓で設定欄を選び、決定を押す。

3 ←→で各設定項目を選び、↑↓で設定する。

4 [確定]を選び、決定を押す。

録画を停止するには

予約リストから録画を停止します。詳しくは「録画を停止するには」(41ページ)をご覧ください。

2番組同時に録画する(2番組同時録画)

地上デジタルとBSデジタルまたはCSデジタルを同時に録画できます。
地上デジタルと地上デジタル、BSデジタルまたはCSデジタルとBSデジタルまたはCSデジタルは同時録画できません。
デジタル放送同士で録画したい番組の放送時間が重なっても、それぞれの番組を[録画1]と[録画2]へ同時に録画できます。

録画方法

- おすすめ番組表から番組を選んで録画する(39ページ)
- 番組表から番組を探して録画する(42ページ)
- 日時指定で番組を探して録画する(44ページ)

2番組同時録画の組み合わせは下記の表をご覧ください。

2番組同時録画の組み合わせ

[録画1]で地上デジタル放送を選んでいるとき

録画1		録画2	
放送の種類*	選べる録画モード	放送の種類*	選べる録画モード
地上デジタル	DR	BSデジタル・CSデジタル	DR
	DRS		
	DRL		
	LP		

[録画1]でBS/CSデジタル放送を選んでいるとき

録画1		録画2	
放送の種類*	選べる録画モード	放送の種類*	選べる録画モード
BSデジタル・CSデジタル	DR	地上デジタル	DR
	DRS		
	DRL		
	LP		

* 地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルのいずれか1つが可能

2番組同時の予約録画について

- 予約の際、一方の番組を[録画1]に、もう一方の番組を[録画2]に設定してください。
- [録画2]への予約録画の場合、DRモードのみ選べます。

[録画2]で録画するときのご注意

「見て録」は[録画2]に録画されます。
[録画2]で録画しているときは、「見て録」やリプレイが利用できません。

予約を確認する・変更する・取り消す（予約リスト）

予約リストは録画予約されている番組を一覧表示します。予約リストから、予約の変更や消去、重複確認、優先順の変更ができます。

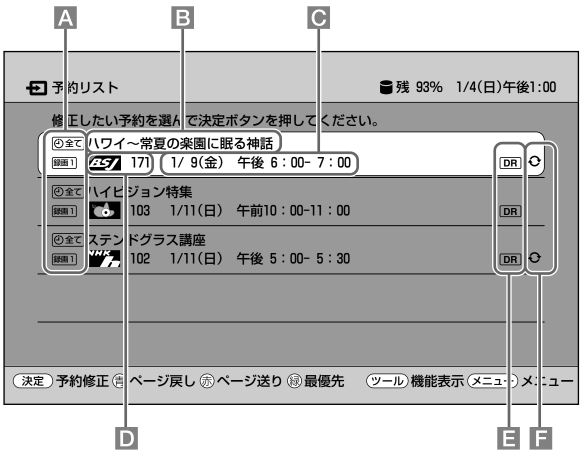
予約を確認する

1 [予約する]（予約する）を押す。

2 ↑↓←→で［予約リスト］を選び、（決定）を押す。

予約リストが表示されます。

予約リストの見かた



A **マーク**
●（赤）:録画中
全て:録画可（全て）
一部:録画可（一部）
NG:録画不可
無効:無効予約
録画1 ／録画2:録画種類

B **予約番組名**

C **予約日時**

D **チャンネル番号・ロゴ**

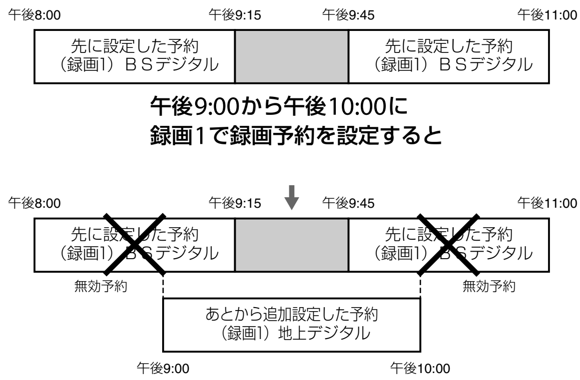
E **録画モード**

F **更新マーク**

無効予約になる条件について

同じ時間帯、同じ録画先に異なる放送の録画予約をすると、先に予約していた録画予約は無効となり、録画が実行されません。（異なる放送とは、地上デジタルとBSデジタル、地上デジタルとCSデジタルのことを指します。）

予約が無効になる例



あとから追加設定した予約の時間と、先に設定していた予約の時間が重なるため、先に設定した予約が無効になる

予約を変更する

予約リストで番組を選んで、（決定）を押します。番組説明画面または録画予約･手動設定画面で、［予約修正］を選びます。変更したい項目を設定し直してから、［予約確定］を選び、（決定）を押します。

ご注意

録画中の録画延長はできません。

予約を取り消す

予約リストで番組を選んで、（決定）を押します。番組説明画面で、［予約消去］を選び、（決定）を押します。

次のページにつづく⇨

前回録画した番組を消去して録画する（更新録画）

連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、前回録画した番組を消去した上で、新しい回を録画します。

[更新録画]を設定する場合は、[録画予約]で[毎回録画]が設定されているタイトルが対象になります（40ページ）。

1 予約リストで番組を選び、決定を押す。

番組説明画面が表示されます。

2 ←→で[予約修正]を選んで、決定を押す。

3 ↑↓で設定欄を選び、決定を押す。

4 ←→で[更新]を選んで、↑↓で[入]に設定し、決定を押す。

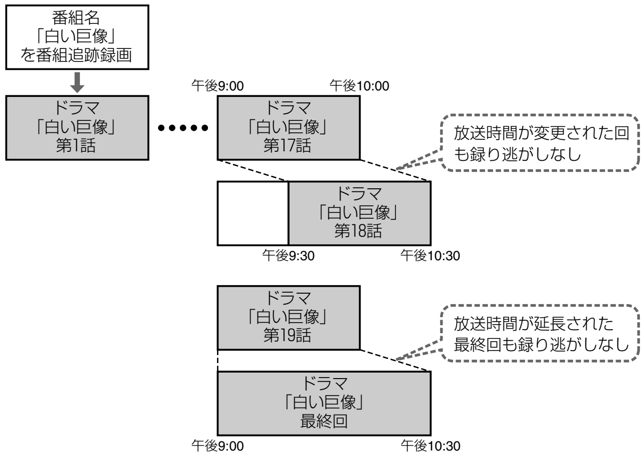
5 [予約確定]を選んで、決定を押す。

本機の電源を切っていても、録画開始時刻になると、録画を行います。

放送時刻の変更に合わせて録画時間を修正する（番組追跡録画）

おすすめ番組表または番組表からの予約で対応する機能です。日時指定予約や〈ブラビア〉の番組表からの予約には対応しません。

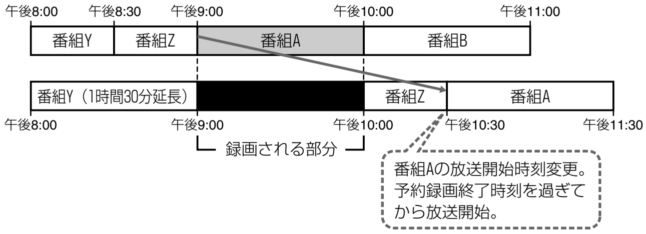
連続ドラマなどの番組を毎回予約したとき、最終回だけ放送時間が違う場合に録り逃がすことがあります。番組追跡録画を設定すると、放送時間が違っても、番組を追跡して予約するため、逃がさず録画できます。また、1回だけの予約の場合でも、録画の前に番組表データの更新があった場合、最新の情報に合わせて録画時間を自動補正します。



ただし、以下の2つの条件が重なると番組追跡録画できません。

- 予約した番組の2つ前の番組の終了時刻が、予約した番組の本来の終了時刻を越えた場合
- 予約した番組の開始時刻が変更され、変更前の番組開始時刻までに更新された番組表が取得できなかった場合

例：午後9：00から午後10：00まで放送予定の番組Aを録画予約しています。番組Yの放送時間に1時間30分の延長が発生した場合、番組Aの放送開始時刻に変更が発生します。しかし番組Aの開始時刻が変更されても、本機の番組表情報は更新されません。そのため、変更後の番組A放送開始時刻（午後10：30）からは録画を開始せず、予約済みの録画開始時刻から録画を開始し、黒い部分が録画されます。



番組追跡録画機能は、お買い上げ時は[入]に設定されています。

この機能を使わないようにするには、[レコーダー設定]で、[録画設定]の[番組追跡録画]を、[切]に設定します(60ページ)。

録画を停止する

予約リストで録画中の番組を選んで、決定を押します。番組説明画面で、[録画停止]を選び、決定を押します。

予約の重複を確認する

番組説明画面から[予約重複確認]を選んで確認します。

予約の優先順位を変更する

本機では、録画の優先順位にしたがって録画します。優先順位は、予約を設定した順番に、新しいものが高くなるように設定されます。

予約が重なった場合、優先順位が高いものが録画され、低いものは録画されなかったり、途中からまたは途中までしか録画されないということが起こります。

重要な録画の場合は、予約リストで優先順位を確認し、必要に応じて番組を最優先させてください。

優先順位を変更するには

予約リストで最優先したい番組を選んで、緑(緑)を押します。優先変更画面で[はい]を選び、決定を押します。

無効の予約を有効にする

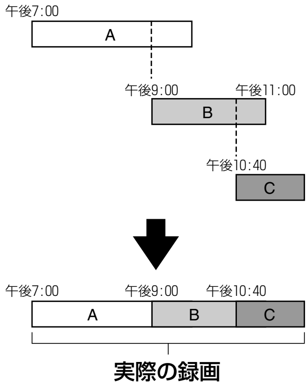
予約リストで[無効]と表示されている番組を選んで、決定を押します。番組説明画面で、[予約有効化]を選び、決定を押します。

同じ放送の種類で予約が重なっているときは

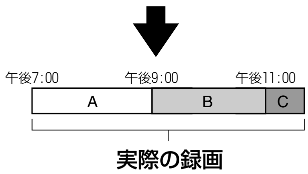
新たに登録された予約と重複し、一部またはすべてが録画されない番組には、「一部」または「NG」が付きます。

重複予約を確定した場合、後から設定した予約が優先されます。

例:番組[A]、[B]、[C]の順に予約した場合(番組[C]の優先順位が一番高い)



番組[B]の優先順位を番組[C]よりも高くすると、番組[B]は設定した録画終了時間まで録画されます。



予約終了時刻と次の予約開始時刻が同じときは

前の予約の最後部は録画されません。

ちょっと一言

- 録画中に予約の優先順位を変えることもできます。
- 重複していない予約に対しても優先変更はできます。

異なる放送の種類で予約が重なっているときは

録画されない番組に「無効」が付きます。予約修正で録画先を変更し予約有効化を行ってください。

録画した番組を再生する



1 **[見る]（見る）を押す。**

2 **↑↓で再生したい番組を選び、[決定]を押す。**

再生をやめるには、[■]または[戻る]（戻る）を押して停止します。

[見る]（見る）を押すと、録画番組リストに戻ります。

録画番組リスト上でツールボタンを押してできること

HDD情報	HDDの情報を表示します。
選択消去	映像を選択して消去します。
予約リスト	予約リスト画面を表示します。
消去	映像を消去します。
番組情報	映像詳細の表示をします。

再生中にツールボタンを押してできること

HDD情報	HDDの情報を表示します。
頭出し	録画した番組を始めから再生します。
ゆっくり再生	録画した番組をゆっくり再生します。
再生停止	再生を停止します。
映像切換	アングルなど切り換えが可能な映像の場合に使用できます。
番組情報	番組詳細の表示をします。

録画した映像にランクを付ける（スター設定）

録画した映像に、ランクマークを付けて、ランクの設定ができます。スター設定をしたジャンルの番組は、自動的に検索しておすすめ番組表に表示されます。

1 **[見る]（見る）を押す。**

2 **↑↓でスター設定を行いたい映像を選び、[緑]（緑）を押す。**

3 ←→または緑（緑）でランクマークを選び、決定を押す。

なし　：ランクマーク(★)をゼロにします。
★　：ランクマーク(★)を1つにします。
★★　：ランクマーク(★)を2つにします。
★★★　：ランクマーク(★)を3つにします。



設定したランクマークは録画リストの右端に表示されます。
5秒間操作しないと、現在選択されているランクでスター設定されます。

ご注意

録画予約で設定した番組を録画しているときは、番組のサムネイルが表示されないことがあります。

音声や字幕を切り換えるには

音声切換（音声切換）や字幕（字幕）を押すたびに、音声信号や字幕の言語が切り換わります。切り換えた信号や字幕表示の内容が画面に表示されます。

再生のいろいろな操作

押すボタン	できること
⏮ ⏭（前／次）	前や次のチャプターに進みます。1つ前のチャプターの先頭に戻るには、前ボタンを2回続けて押してください。 タイトルをまたいで進むことはできません。
←・ ・→（フラッシュ－／＋）	少し前に戻る、または少し先に進みます。
◀◀ ▶▶（早戻し／早送り）	• 再生中にくりかえし押すと4段階で早送り再生(▶▶1（2倍）、▶▶2（10倍）、▶▶3（30倍）、▶▶4（120倍)または早戻し再生(◀◀1（2倍）、◀◀2（10倍）、◀◀3（30倍）、◀◀4（120倍）)します。ボタンを押し続けると、離すまで選んだ速さで再生します。 また←→でも同様の操作ができます。 • 一時停止中に▶▶を1秒以上押すと、スロー再生します。
■（停止） II（一時停止）	停止や一時停止します。 また戻る（戻る）を押して停止、決定を押して一時停止することもできます。

録画した番組をゆっくり再生する

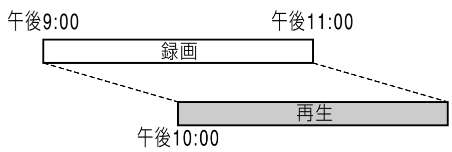
録画した番組を再生中にツール（ツール）を押し、[ゆっくり再生]を選ぶとゆっくり再生できます。

録画中の番組を最初から見る（追いかけ再生）

録画を続けながら、録画終了を待たずに録画済みの部分を再生します。

1 見る（見る）を押す。

2 ↑↓で再生したい番組を選び、決定を押す。



録画しながら他の番組を再生する（同時録画再生）

番組を録画中に、録画した他の番組を再生できます。再生中に録画予約で設定した録画が始まっても再生を続けることができます。

再生する

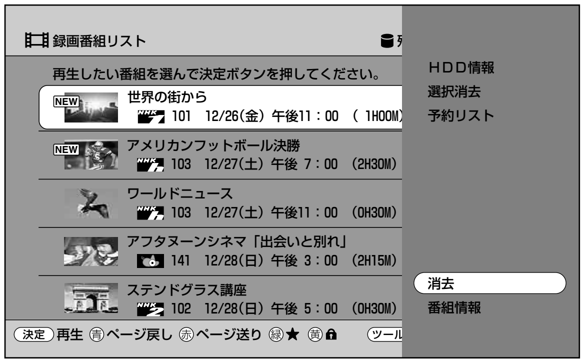
録画した番組を消去する



1 見る（見る）を押す。

2 ↑↓で消去したい番組を選び、●（ツール）を押す。

3 ↑↓で［消去］を選び、決定を押す。



確認画面で［はい］を選び、決定を押します。

ご注意

録画中の番組は消去できません。

複数の番組を選んで消去するには

1 録画番組リストで●（ツール）を押す。

2 ↑↓で［選択消去］を選び、決定を押す。

3 消去したい番組を複数選び、決定を押す。

選んだ番組にはチェックマークが付きます。

4 ［確定］を選び、決定を押す。

5 確認画面で［はい］を選び、決定を押す。

誤って消さないようにする

誤って録画した番組を消去しないよう、番組ごとにプロテクト(保護)の設定をします。

1 **見る(見る)を押す。**

2 **↑↓でプロテクトしたい番組を選び、黄(黄)を押す。**

番組が保護され、🔒が表示されます。

プロテクトを解除するには

プロテクト設定した番組を選び、黄(黄)を押します。

番組から🔒が消えます。

消去する

テレビ放送を見る

1 [予約する]（予約する）を押す。

2 ↑↓←→で放送の種類を選び、決定を押す。

3 ↑↓で視聴したい番組を選び、決定を押す。

4 ←→で［視聴］を選び、決定を押す。



ご注意

- 録画中は本機でテレビ番組を見ることができません。
- 本機では、デジタルのラジオ放送やデータ放送を視聴することができません。
- 本機の接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表データを受信するまでは番組表に番組は表示されません。番組表データの受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに1日程度かかることもあります。

音声や字幕を切り換える

音声切換（音声切換）や字幕（字幕）を押す。

押すたびに音声信号や字幕の言語が切り換わります。

切り換えた信号や字幕表示の内容が画面に表示されます。

ちょっと一言

- チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。
- 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

視聴年齢制限つき番組を見る

［アンテナ設定］の［BS/CSデジタル視聴年齢制限］で視聴年齢制限つき番組を見るための暗証番号を設定した場合（59ページ）、設定した視聴年齢制限に該当する番組を見たり、録画しようとすると、「暗証番号入力画面」が表示されます。番組を見たり、録画したりするには、暗証番号を入力して視聴年齢制限を解除します。暗証番号を設定していない状態で視聴年齢制限つきの番組を見たり、録画したりする場合は、「視聴年齢制限警告画面」が表示されます。

1 「テレビ放送を見る」の手順に従って、番組を選ぶ。

視聴年齢制限番組が始まると、暗証番号入力画面が表示されます。

2 ↑↓←→で4桁の暗証番号を入力する。

↑↓で番号を入力し、→でカーソルを右に移動して次の番号を入力します。カーソルが移動すると前の番号は＊に変わります。←でカーソルを左に移動すると番号を修正できます。

3 ↑↓←→で［確定］を選び、決定を押す。

4 番組を視聴したり、録画や予約の準備を行う。

ちょっと一言

録画後は暗証番号を入力しなくても視聴できます。

視聴年齢制限つき番組を録画予約するには

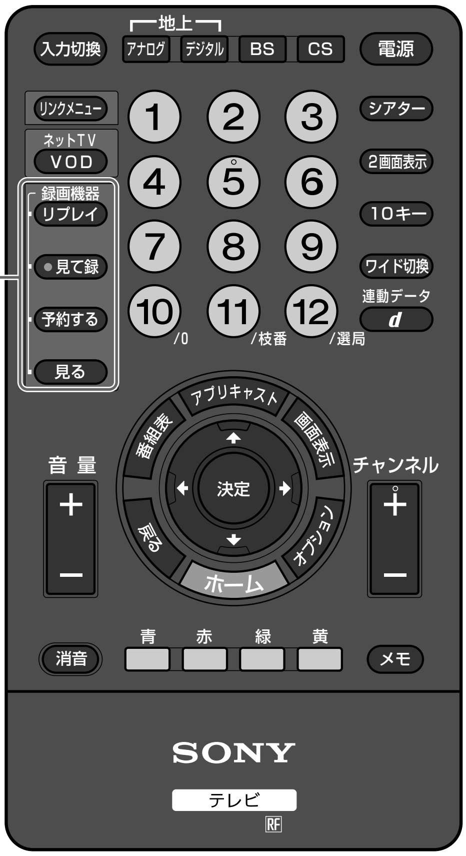
番組説明画面で［録画予約］を選択して決定を押すと、暗証番号入力画面が表示されます。

↑↓←→で暗証番号を入力し、［確定］を選び決定を押してください。

ブラビアのリモコンで本機を操作する

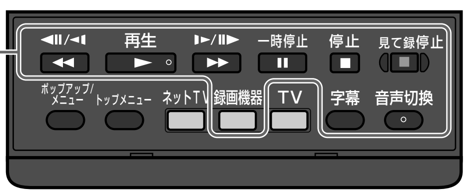
下記ソニー製テレビ〈ブラビア〉に付属のリモコンを使うと、「見て録」やリプレイなどの機能が利用できます。
設定方法については、「[手順13] ブラビアリンクを利用するための設定をする」(28ページ)をご覧ください。

KDL-52ZX5/KDL-46ZX5/KDL-52W5/KDL-46W5/KDL-40W5/KDL-46F5/KDL-40F5/KDL-32F5/KDL-46V5/KDL-40V5/KDL-55XR1/KDL-46XR1/KDL-40ZX1/KDL-52X1/KDL-46X1/KDL-40X1/KDL-46W1/KDL-40W1/KDL-46F1/KDL-40F1/KDL-32F1/KDL-52V1/KDL-46V1/KDL-40V1/KDL-32J1/KDL-32JE1/KDL-70X7000/KDL-52X5000/KDL-46X5000/KDL-40X5000/KDL-52X5050/KDL-46X5050/KDL-40X5050/KDL-52V5000/KDL-46V5000/KDL-40V5000/KDL-52W5000/KDL-46W5000/KDL-40W5000**に付属のマルチリモコン**∗1



本機操作ボタン

ふたを開ける



本機操作ボタン

∗1 本ページで使われているマルチリモコンのイラストは、KDL-40W1/KDL-46W1のものです。
∗2 本ページで使われているリモコンのイラストは、KDL-20J1/KDL-26J1のものです。

ご注意

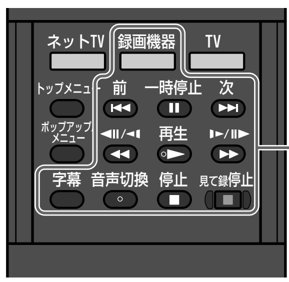
本機のリモコンのメニューボタンでの操作は、〈ブラビア〉のリモコンではホームボタンで行います。
本機のリモコンのツールボタンでの操作は、〈ブラビア〉のリモコンではオプションボタンで行います。

KDL-32J5/KDL-26J5/KDL-22J5/KDL-19J5/KDL-26J1/KDL-20J1/KDL-46V3000/KDL-40V3000**に付属のリモコン**∗2



本機操作ボタン

ふたを開ける



本機操作ボタン

今見ている番組を録画する（見て録）

〈ブラビア〉のリモコンの●見て録を押す。

録画を開始します。
「見て録」は2時間後に自動的に停止します。
「見て録」は[録画2]のみで録画されます。

録画を停止するには

〈ブラビア〉のリモコンの見て録停止（見て録停止）を押します。

- 次の場合、「見て録」ボタンを押しても録画は実行されません。
  - 本機の電源が入っていない場合
  - 2画面を表示中
  - リプレイ中
  - 視聴中のチャンネルがアナログ放送の場合
  - [録画2]で録画中
  - テレビの入力が他の外部入力になっている場合
  - 録画した映像を再生している場合
  - 本機でテレビ番組を視聴している場合
  - 本機のメニュー画面を表示している場合
  - 録画した映像が300件あるときに、自動消去の設定が[切]に設定されていたり、[入]で設定されていて録画した映像がすべてプロテクトされている場合
  - ハードディスクの空き容量が足りない場合

ご注意

- 視聴中のデジタル放送の番組を録画ボタンを押して録画する場合、DRモード以外の録画モードを選ぶことはできません。
- [録画2]の録画予約が実行されると、「見て録」は停止されます。
- 録画番組は複数に分かれて録画されることがあります。

今見ている番組の放送を一時的に停止する（リプレイ）

〈ブラビア〉のリモコンの「リプレイ」ボタンを押すだけで、今見ている番組の放送を一時的に停止して続きから再生できます。
リプレイは［録画2］のみで録画されます。

1 〈ブラビア〉のリモコンの リプレイ を押す。

数秒前*の場面に戻って一時停止します。

＊ 放送の内容によって5 ～ 15秒前になります。

2 〈ブラビア〉のリモコンの ► または 決定 を押す。

手順**1**で停止している場面の続きから再生します。

- 次の場合、「リプレイ」ボタンを押しても実行されません。
  －本機で視聴中
  －2画面を表示中
  －視聴中のチャンネルがアナログ放送の場合
  －［録画2］で録画中
  －録画予約が約2分以内にある場合
  －今見ている放送を録画している場合
  －テレビの入力が他の外部入力になっている場合
  －本機が番組表のデータを取得している場合
  －本機のメニュー画面を表示している場合
  －録画した映像を再生している場合
  －ハードディスクの空き容量が足りない場合

ご注意

- リプレイの最大録画時間は2時間です。
  ただし、番組によっては放送の切り換わりでリプレイが停止します。
- 「リプレイ」ボタンを押してから2時間経過すると、録画番組リストを表示します。
- ［録画2］の録画予約が実行されると、リプレイは停止されます。
- リプレイ中にリプレイはできません。
- リプレイ中は、本機のリモコンの前／次ボタンやフラッシュボタンは効きません。

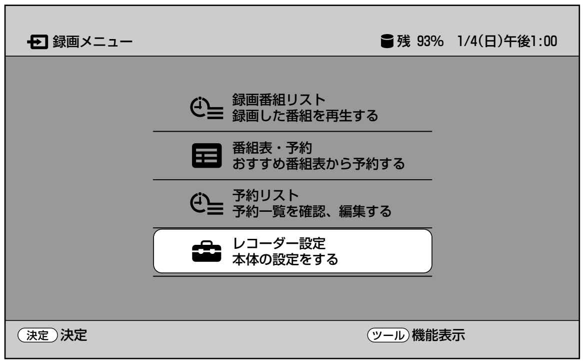
本機の設定を変更する



設定画面でチャンネルなどのさまざまな設定ができます。

1 （メニュー）を押す。

2 ↑↓で［レコーダー設定］を選び、（決定）を押す。



3 ↑↓で設定したい項目を選んで、（決定）を押す。

ご注意

録画中は設定の変更ができません。録画が終了してから行ってください。

お知らせ

項目	項目説明
放送局からのメール	放送局からお客様へのお知らせ（メール）を見ることができます。
本機からのメール	予約や録画結果など、本機からお客様へのお知らせ（メール）を見ることができます。

アンテナ設定

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

設定したいこと	項目	項目説明
地上デジタルチャンネルスキャン		地上デジタル放送の受信設定を一連の流れで設定できます。
地上デジタルアンテナレベル ちょっと一言 • アンテナレベルはアンテナ設置方向の最適値を確認するための目安です。表示される数値は、雑音電波に対する受信電波の相対的な強さ（C/N比）を表します。 • ［確定］を選ぶとアンテナレベルの確認を終了します。	伝送チャンネル	アンテナレベルを確認したい伝送チャンネルを選択します。
	現在受信中のチャンネル	受信中のチャンネル番号を表示します。
	現在	受信中のチャンネルの現在のアンテナレベル値を表示します。
	ピーク	受信中のチャンネルの過去に取得できた最大のアンテナレベル値を表示します。
	受信レベル表示バー	受信中のチャンネルのアンテナレベルをバーで表示します。赤、黄、緑の順に受信レベルが高くなります。
BS/CSデジタルアンテナ電源	<u>自動</u>	本機の電源が入っているときに、本機が衛星アンテナに電源を供給するかどうかを自動的に判断します。本機の電源が切れているときは供給しません。
	入	本機の電源が入っているときはつねに電源を供給します。本機の電源が切れているときは供給しません。［自動］の設定でお使いのとき、BSデジタルが映ったり消えたりするときは［入］を選びます。
	切	電源を供給しません。マンションなどの共同受信システムのときは［切］を選びます。
BS/CSアンテナレベル ちょっと一言 ［確定］を選ぶとアンテナレベルの確認を終了します。	放送	アンテナレベルを確認したい放送（BSまたはCS）を選択します。
	3桁チャンネル番号	アンテナレベルを確認したいチャンネルを選択します。
	現在	受信中のチャンネルの現在のアンテナレベル値を表示します。
	ピーク	受信中のチャンネルの過去に取得できた最大のアンテナレベル値を表示します。
	受信レベル表示バー	受信中のチャンネルのアンテナレベルをバーで表示します。赤、黄、緑の順に受信レベルが高くなります。
BS/CSデジタル視聴年齢制限		視聴年齢制限が付いている番組について、何歳以上対象の番組を制限するかを設定します。また、制限を解除するための暗証番号を設定します。

録画設定

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

設定したいこと	項目	項目説明
チャプター（録画1）	6分毎	［録画1］で録画したときに、約6分間隔でチャプターを区切ります。
	切	自動でチャプターを区切りません。
チャプター（録画2）	6分毎	［録画2］で録画したときに、約6分間隔でチャプターを区切ります。
	切	自動でチャプターを区切りません。
番組追跡録画	入 切	［入］を選ぶと、録画時の番組追跡録画をします。
自動削除	入 切	［入］を選ぶと、HDD空き容量が少ない場合に、自動的に古い録画から削除します。
TV EPG連携予約時の録画モード	DR DRS DRL LP	テレビの番組表から本機への録画予約をするときの、本機の録画モードを設定します（40ページ）。

本体設定

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

設定したいこと	項目	項目説明
文字スーパー	第一言語	臨時ニュースなど、文字スーパーが送信されているときに文字スーパーの言語を切り換えたり、文字スーパーを消したりできます。
	第二言語	
	切	
HDMI音声出力	自動	HDMI出力端子にAAC対応AVアンプなどをつないでいるときに選びます。5.1chサラウンドのデジタル放送の音声はAAC音声でそのまま出力されます。
	PCM	HDMI出力端子にAAC対応していないAVアンプやホームシアター機器などをつないでいるときに選びます。
ソフトウェアアップデート	自動	［自動］を選ぶと、デジタル放送から自動的にダウンロードして、本機内蔵のソフトウェアを最新の状態に保ちます。
	切	
B-CASカード情報	B-CASカードの情報を表示します。	
本機の情報	本機のソフトウェアバージョンを確認できます。	
時刻	時刻の設定を行います。	
リモコンモード	HDD1	本体側のリモコンモードを設定します。 **ご注意** 本体側のリモコンモードを変更したときは、リモコン側も同じリモコンモードに変更してください。詳しくは「リモコン側のリモコンモードを変更する」(63ページ)をご覧ください。
	HDD2	
	HDD3	
HDD初期化	HDDを初期化します。初期化すると録画した映像がすべて削除され、元に戻すことはできません。	
HDMI機器制御	入	HDMI機器制御に対応したテレビをつないでいるときに、HDMI機器制御を有効にします。
	切	HDMI機器制御機能を無効にします。
		ご注意 ブラビアリンク対応のテレビに付属しているリモコンを、本機の操作に使うときは、［入］を選んでください。

さまざまな設定をする

その他

お買い上げ時の設定は、下線が付いている項目です。

設定したいこと	項目	項目説明
初期化	設定した各項目の内容を初期化します。	
視聴学習（おすすめ番組表）	入	［入］を選ぶと、あなたの視聴を自動で学習して、「おすすめ番組」を案内します。
	切（下線）	

かんたん設定

設定したいこと	項目	項目説明
かんたん設定を始める	地上･BS･110度CSデジタル放送の受信設定を一連の流れでできます。	

リモコン側のリモコンモードを変更する

リモコンモードは、本体側とリモコン側のそれぞれに設定されています。本体側とリモコン側のリモコンモードは同じにしてお使いください。
リモコンモードが異なると、リモコンで本機を操作できません。
本体側のリモコンモードの設定について詳しくは「本体設定」(61ページ)をご覧ください。

画面表示 ●(画面表示)を押しながら、戻る ●(戻る)、登録したいリモコンモードに対応するリモコンボタンの順番で3つのボタンを同時に押す。

例:「HDD1」を登録する場合
画面表示 ●(画面表示)を押しながら、戻る ●(戻る)、◀◀ の順番で3つのボタンを同時に押します。

対応リモコンモード

リモコンモード	リモコンボタン
HDD1	◀◀
HDD2	▶◦
HDD3*	▶▶

* お買い上げ時の設定

ご注意

リモコンの電池を取り出したり、交換したりすると、設定したリモコンモードが消えることがあります。もう一度設定しなおしてください。

さまざまな設定をする

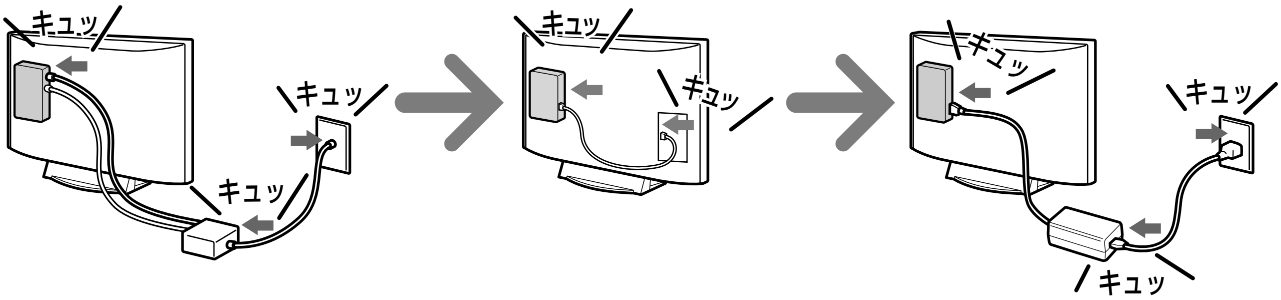
故障かな？と思ったら

まず確認してください

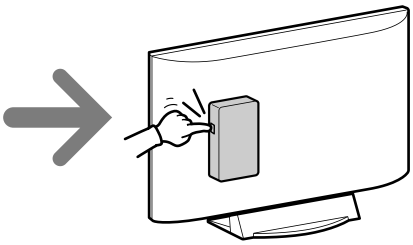
アンテナ線をしっかりつなぐ。

HDMIケーブルをしっかりつなぐ。

ACパワーアダプターをしっかりつなぐ。

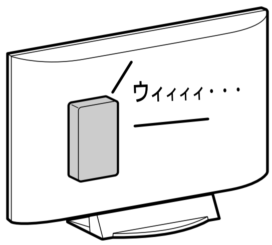


①テレビの電源を入れる。
②本機の電源ランプが赤く点灯しているときは、電源スイッチを押して緑色にする。



こんな場合は故障ではありません

電源を切っているのにファンの音がする。



電源が「切」でも、番組表データの取得時や予約録画実行時などの場合、本機のファンが動作します。

画像

症状	対処のしかた	参照ページ
画像が出ない、画像が乱れる。	● 電源コードがしっかり差し込まれているか確認してください。 ● 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 ● 電源を切って電源コードを抜いてください。しばらく置いてから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。 ● 接続コードが断線していないか確認してください。 ● 受信電波が弱いと、正常に録画できません。地上デジタル、BSデジタル、CSデジタルのうち、問題のある放送のアンテナレベルを確認してください。黄色または緑色部分にあることが正常の目安です。アンテナレベルが低い場合はアンテナの位置、方向、角度を調整してください。 ● それぞれの同軸ケーブルの端子をいったん外し、端子中央の芯線が曲がったり破損したりしていないことを確認してください。その上で奥まで挿し直し、ねじを奥までしっかり回して締めてください。 ● HDDの特性上、ごくまれに画像が乱れることがありますが、故障ではありません。 ● 本機はDVI機器への接続に対応していません。	59

番組表

症状	対処のしかた	参照ページ
番組表が表示されない。 番組表に表示されない放送局がある。	● 接続と「かんたん設定」が終了しても、番組表データを受信するまでは表示されません。受信が終わるまでしばらくお待ちください。受信までに1日程度かかることもあります。 ● 日付や時刻を正しく設定してください。 ● 番組表データを送信している放送局の受信状態が悪い場合、番組表は表示できません。 ● 正しい地域が設定されているか確認してください。 ● お住まいの地域によっては、番組表データを受信できない場合があります。 ● 視聴学習（おすすめ番組表）が［切］になっていると、おすすめ番組表に番組が表示されなくなることがあります。 ● 番組表データに含まれない放送局は表示されません。 ● 受信状態が悪いと、一部の放送局を受信できない場合があります。受信できない放送局の番組表は表示されません。 ● 受信状況を改善したあとに地上デジタルチャンネルスキャンを再度行ってください。	61 62 62 59
番組表が更新されない。	● 更新時の受信状態が悪いと、最新の番組表データを受信できない場合があります。 ● 番組表データを送信している放送局が変わっていないか確認してください。	
番組表に表示されない番組がある。	● 受信状態が悪いと、一部の番組表データを受信できない場合があります。	
間違った放送局名が表示される。	● 正しい地域が設定されているか確認してください。 ● 引越して番組表データを受信できない場合などに、前に受信していた放送局名が表示されることがあります。	62
番組表に表示される番組が少ない。	● お買い上げ時、または長時間本体の電源コードを抜いた状態のあとは、番組表に表示される番組が少ないことがあります。しばらくすると表示されます。	

次のページにつづく ⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

録画・予約

症状	対処のしかた	参照ページ
録画中、テレビのチャンネルを変えられない。	• テレビ本体のチャンネルを見たいチャンネルに切り換えてください。	
録画中に［録画停止］を選んでもすぐに録画が止まらない。	• 録画が止まる前にHDDにデータを記録するため、止まるまでに十数秒かかります。録画の状態によっては、録画が停止するまでに通常よりも時間がかかる場合があります。	
予約したのに録画されていない。	• 本機からのメールを確認してください。 • 録画中に停電がありませんでしたか？ • 1時間以上の停電があり、時計が止まっていなかったか確認してください。 • コピー制御信号が含まれている映像を録画、または録画予約していないか確認してください。 • 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていなかったか確認してください。 • HDDの残量が足りているか確認してください。 • 録画した映像の数が上限（300個）に達していると録画できません。 • 視聴年齢制限を超えた番組か確認してください。 • 有料番組か確認してください。 • B-CASカードが入っているか確認してください。	59 47 59 17
予約した内容が途中で切れている。	• 後から設定した予約、または優先設定や延長設定をした予約が重なっていなかったか確認してください。 • 番組の中断がなかったか確認してください。 • コピー制御信号が含まれている映像が途中から始まらなかったか確認してください。 • HDDの残量が足りているか確認してください。 • 録画中に停電がありませんでしたか？ • 録画終了時刻から開始する別の録画予約がなかったか確認してください。 • 受信状態が悪かった場合、途切れます。	47
以前録画した内容がなくなっている。	• 更新録画が設定されているか確認してください。 • ［自動削除］が［入］に設定されていると、HDDの空き容量が少ない場合に、録画された映像が自動的に消去されます。	48 60
テレビの番組表から録画予約できない。	• お使いのテレビが本機への録画予約に対応しているか確認してください。	36

再生

症状	対処のしかた	参照ページ
最初から始まらない。	• つづき再生になっていないか確認してください。映像選択時に、ツールボタンを押し［頭出し］を選んでください。	50
追いかけ再生できない。	• アンテナの受信状態が悪かったり、アンテナ線が抜けていると、追いかけ再生できないことがあります。 • 録画中の番組の途中からスクランブル解除できない信号が入った場合、追いかけ再生できません。	

音声

症状	対処のしかた	参照ページ
音が出ない。	• 接続コードのプラグがしっかり差し込まれているか確認してください。 • 接続コードが断線していないか確認してください。 • 一時停止、スロー再生になっていないか確認してください。 • 早送りまたは早戻しになっていないか確認してください。	51

リモコン

症状	対処のしかた	参照ページ
リモコンが働かない。	• 乾電池が消耗していないか確認してください。 • リモコンを本体に向けて操作してくだい。 • リモコンを本体から遠いところで操作すると働かない場合があります。 • 本機前面のリモコン受光部が見えない位置にある場合(本機をテレビの背面に設置している場合など)は、リモコン延長受光部を本機に接続して、リモコン延長受光部の正面がリモコンから見えるように設置してください。 • リモコン延長受光部のコードをいったん抜いて、しっかりと奥まで挿し直してください。 • 本体側のリモコンモードとリモコン側のリモコンモードが一致している必要があります。リモコン側のリモコンモード(HDD1 ～ HDD3)を変更し、リモコンが効くか確認してください。 • 電源を入れなおしてください。	26 26 26 63
ソニー製テレビに付属のマルチリモコンで、本機を操作できない。	• 近くに電子レンジや無線装置があるときはマルチリモコンで操作できないことがあります。 • 本機をマルチリモコンに登録してください。 • マルチリモコンの「録画機器」ボタンには、1台の機器のみ登録できます。 • 本機をテレビの背面に設置している場合、周囲環境などの影響によりマルチリモコンが効きにくくなることがあります。この場合は、本機をテレビの横や下に置いて、マルチリモコンが操作できる位置に移動してください。	29 25

次のページにつづく⇨

故障かな？と思ったら（つづき）

その他

症状	対処のしかた	参照ページ
電源が「切」のときに本機のファンの音がする。	• 電源「切」時に番組表データを取得する際、本機のファンが動作することがあります。 • 本機に挿入したB-CASカードが契約切れで本機が確認の通信動作を行っている場合、ファンは動作し続けます。 • ソフトウェアアップデート中は本機が待機状態になるため、ファンが回り続けます。	
正常に動作しない。	• 静電気などの影響で正常に動作しなくなったときは、電源を切って電源コードを抜いてください。しばらく置いてから再び電源コードをつなぎ、電源を入れてください。	
チャンネルを切り換えたときに画像が出るまでに時間がかかる。	• 番組表データの受信後、画像が出るまでに時間がかかることがあります。	
HDMI機器制御が働かない。	• テレビの［HDMI設定］-［HDMI機器制御］が［する］になっているか確認してください。 • 本機の［レコーダー設定］-［本体設定］-［HDMI機器制御］が［入］になっているか確認してください。 • 既にテレビにHDMI機器制御対応の録画機器が3台接続されていると、4台目はHDMI機器制御が働きません。	
テレビの電源を入れると本機が勝手に起動する。	• HDMI機器制御が働いています。本機の［レコーダー設定］-［本体設定］-［HDMI機器制御］を［切］にすると、本機のみ電源連動しなくなります。 • テレビの［HDMI設定］-［HDMI機器制御」を［しない］にすると本機が電源連動しなくなります。ただし、テレビにつないでいるすべてのHDMI機器制御対応機器のHDMI機器制御が働かなくなります。	

エラーメッセージ

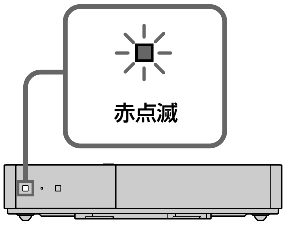
メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
衛星アンテナがショートしたため、BS/CSデジタルアンテナ電源の設定を「切」にしました。取扱説明書をご覧ください。	E207	(1) テレビの電源を切る。 (2) 本機前面の電源スイッチを10秒以上押し続ける。 電源スイッチを押している途中、電源スイッチのランプが緑色に点灯することがありますが、電源スイッチを押し続けてください。 (3) 電源ランプが赤く点灯し、電源が切れていることを確認する。 (4) 衛星用同軸ケーブルの芯線がBS/110度CS IF入力端子やケーブルのまわりの金属部分に触れていないか確認する。 (5) 本機およびテレビの電源を入れる。 (6) 「かんたん設定」の途中でメッセージが表示された場合は、「かんたん設定」をやり直す。 (7) ［BS/CSデジタルアンテナ電源］を［自動］または［入］に設定する。 マンションなどの共同受信システムの場合は［切］に設定してください。 それでも表示が消えないときは、本体の電源スイッチで主電源を切り、お買い上げ店またはソニーご相談窓口にお問い合わせください。	62 59
B-CASカードを入れてください。	E100	• B-CASカードが挿入されていません。B-CASカードを正しく入れてください。	17
B-CASカードを読み取れません。カードを抜き差ししても直らない場合はカスタマーセンターにお問い合わせください。	E102	• B-CASカード以外は使えません。付属のB-CASカードをお使いください。 • B-CASカードの入れる向きが前後、表裏逆向きになっていないか確かめてから、もう一度しっかり入れ直してください。 • B-CASカードが破損している場合や、入れ直してもメッセージが表示されるときは、「デジタル放送お問い合わせ先一覧」をご覧になりお問い合わせください。	17 77

メッセージ一覧	エラーコード	対処のしかた	参照ページ
該当するチャンネルはありません。	E204	● 放送チャンネルではないため、視聴できません。 別のチャンネルを選局してください。	
受信できません。ケーブルをつなぎ直すかアンテナ再調整などをしてください。大雨･大雪が影響している場合もあります。	E202	● 悪天候による受信障害やアンテナの設定、調整が正しくできていない場合があります。また放送されていないチャンネルを選局している場合もあります。	
このチャンネルは現在休止中です。	E203	● 放送を休止しているチャンネルを選局しています。 別のチャンネルを選局してください。	
本機では、データを表示できません。	E401	● データ放送を正しく受信できません。 別のチャンネルを選局してください。	
デバイスエラー レコーダー X	0c	● B-CASカードが挿入されていません。 B-CASカードを正しく入れてください。	17
デバイスエラー レコーダー X	0d	● コピープロテクションにより録画できません。	
デバイスエラー レコーダー X	17	● 視聴年齢制限により録画できません。	59

次のページにつづく⇨

自己診断表示－画面が消え、電源ランプが点滅したら

本機には自己診断表示機能が付いています。これは本機に異常が起きたときに、本機前面の電源ランプの点滅およびその速さで本機の状態をお知らせし、よりスムーズにサービス対応させていただくための機能です。本機前面の電源ランプが赤く点滅したら、下の手順に従って、裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。お問い合わせの内容によっては、修理が必要な場合があります。



1 本機前面の電源ランプの点滅回数を数えてください。

2 本機の電源を切り、電源コンセントを抜いてから、ソニーご相談窓口に点滅回数をお知らせください。

保証書とアフターサービス

本機は日本国内専用です。電源電圧や放送規格の異なる海外ではお使いになれません。

保証書について

- この製品は保証書が添付されていますので、お買い上げの際、お買い上げの店からお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- 記録内容（コンテンツ）については、保証の対象外です。
- 当社にて記録内容（コンテンツ）の修復、復元、複製などは行いません。

アフターサービス

調子が悪いときはまずチェックを

「故障かな？と思ったら」（64ページ）の項を参考にして、故障かどうかをお調べください。

それでも具合が悪いときはソニーご相談窓口へ

裏表紙にあるソニーご相談窓口へお問い合わせください。

BSデジタル、110度CSデジタルの放送局との受信契約や番組に関しては、ご覧になりたい放送局のカスタマーセンターや衛星サービス会社、B-CASカスタマーセンター（電話番号0570-000-250）にお問い合わせください。

部品の交換について

この製品は、修理の際に交換した部品を再生、再利用する場合があります。その際、交換した部品は回収させていただきます。

保証期間中の修理は

保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。

詳しくは、保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は

修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料で修理させていただきます。

部品の保有期間について

当社では、デジタルハイビジョンチューナー内蔵HDDレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。保有期間が経過したあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、ソニーご相談窓口にご相談ください。

ご相談になるときは次のことをお知らせください。

型名： BRX-A320/BRX-A500

故障の状態： できるだけ詳しく

購入年月日：

本機の型名、シリアルナンバー、および定格は本体底面に記載されています。

お買い上げ店 TEL.
お近くのサービスステーション TEL.

This Recorder is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

その他

主な仕様

型名		BRX-A320	BRX-A500
システム	形式	デジタルハイビジョンチューナー内蔵HDDレコーダー	
	受信チャンネル	地上デジタルチューナー：UHF、CATV BS・110度CSデジタルチューナー：1022 ～ 2072MHz	
	映像圧縮方式	MPEG-2	
	音声圧縮方式	MPEG-2 AAC（5.1chサラウンド放送）	
入・出力端子	HDMI出力	19ピン標準コネクタ	
	サービス専用端子	USBタイプAコネクタ（サービス専用）	
	アンテナ入出力	地上デジタル/UHF：75 Ω F型コネクター BS/110度CS IF：75 Ω F 型コネクター （コンバーター用電源出力DC15V 最大4W、芯線側＋、メニューにて自動／切を切り換え）	
	リモコン入力	ミニジャック	
電源部、その他	電源	AC100 V、50/60 Hz	
	消費電力	30W	28W
	許容動作温度	5 ℃～ 35 ℃	
	許容動作湿度	25 %～ 80 %	
	最大外形寸法	25.5×14.8×5.2 cm（幅×奥行き×高さ）最大突起含む	
	HDD容量	320ギガバイト	500ギガバイト
	本体質量	約1.6kg	
	付属品	「［手順1］付属品を確かめる」（13ページ）をご覧ください。	

- HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの商標または登録商標です。
- 本機は日本国内用です。電源電圧、放送規格の異なる外国ではお使いになれません。
- 仕様および外観は改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。
- 本製品に搭載されているフォントの内、新ゴR、新丸ゴR、新丸ゴBの各書体は株式会社モリサワより提供を受けており、これらの名称は同社の登録商標または商標であり、フォントの著作権も同社に帰属します。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

ダウンロードの流れについて

本機を最新の状態に保つために、デジタル放送から最新情報をダウンロードして、ソフトウェアを更新します。

ダウンロードに必要な条件

- **デジタル放送のアンテナレベルが「20」以上であること**

ダウンロードの実行

数時間ごとに、デジタル放送から数分程度のソフトウェア書き換え用のデータ信号が送信され、本機が自動的にその信号を受信します。ダウンロードの実行には20分前後かかります。

ソフトウェアの更新

ダウンロード終了後、リモコンで電源を切ると自動で内部ソフトウェアを更新します。ソフトウェアの更新は5分前後かかります。

ご注意

- 手動ではダウンロードできません。
- ダウンロードをしないように設定すると、デジタル放送が正しく受信できなくなることがあります。そのため、自動でダウンロードできる設定のままお使いいただくよう、強くおすすめします。

ダウンロードについてのQ&A

「1回目の信号でうまくダウンロードできなかったら？」

ご安心ください。ソフトウェア書き換え用のデータ信号は、一定の期間内に何回も送信されます。

「電源コードを抜いておくとダウンロードされないの？」

電源コードが抜かれていたり、本体の電源スイッチで主電源を切ったりしたときは、ダウンロードは行われません。

「ソフトウェア更新中に電源コードを抜くとどうなるの？」

ソフトウェア更新中は、電源コードを抜かないでください。ソフトウェア更新が途中で終了し、誤動作を起こす場合があります。

「ダウンロードによって、設定内容がお買い上げ時の状態に戻ったりしないの？」

ご安心ください。お客様が設定した内容は書き換えられることなく、保持されます。

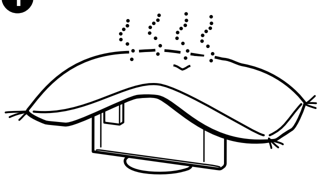
愛情点検 安全点検チェックリスト

安全点検項目

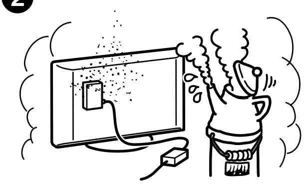
❶	布やテーブルクロスなどで **通風孔をふさいで**いませんか
❷	**水気、油気、湿気、ほこりの多いところ**に 置いていませんか
❸	**不安定な場所**に置いたり、 **不安定な置きかた**をしていませんか
❹	電源コードが**物(椅子、机、台など)の下敷き** になっていませんか
❺	**たこ足配線**をしていませんか
1	電源コードを動かしたとき、 **電源が入ったり切れたり**しませんか
2	電源コードが窮屈に**折れ曲がったり、** **キズがついたり**していませんか
3	電源コードやACパワーアダプター、プラグ が**異常な熱**を持っていませんか
4	**異常な熱や煙**が発生したり **変な臭いや音**(パチパチ)がしませんか
5	電源を入れても **画像や音が出ない**ことがありませんか
6	**画像や音が途切れたり、乱れたり**しませんか
7	**通風孔から水や異物**(紙·虫·クリップ·ピンな ど)が入った形跡がありませんか
8	**故障状態のまま**使用していませんか

設置場所と設置方法

❶

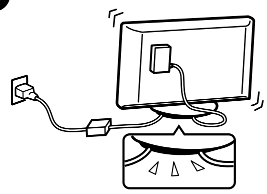


❷

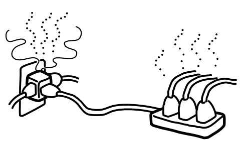


電源コードとプラグ

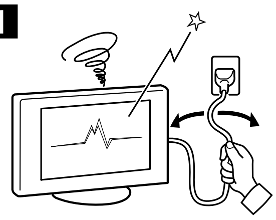
❹



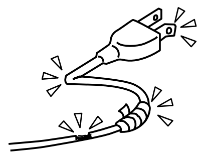
❺



1

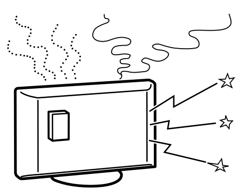


2

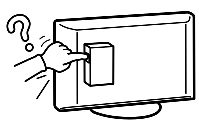


本体

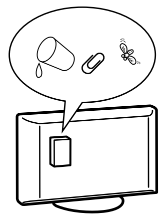
4



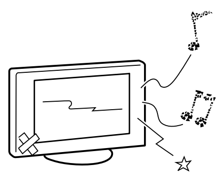
5

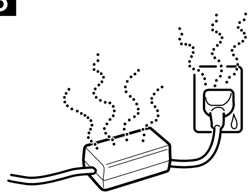
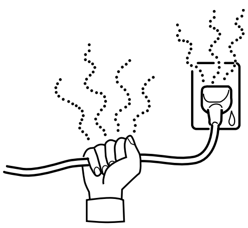
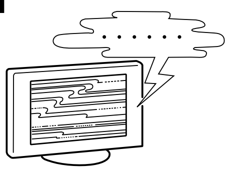


7



8



	点検結果 年／月 ○良い ×悪い					処置手順
❸ 						×印の項目があるとき ↓ **そのままお使いになりますと故障や事故の原因になることがあります。** 正しく安全な設置場所や設置方法に必ず改善してください。
3  						1つでも×印があるとき ↓ **すぐに電源プラグを抜いて使用を中止してください。** ↓ お買い上げ店、またはソニーご相談窓口にご相談ください。
6 						

HDMI機器制御について

HDMI機器制御とは

HDMI機器制御は、HDMIで規格化されているHDMI CEC（Consumer Electronics Control）を使った機器間相互制御の機能です。ソニーのHDMI機器制御対応のテレビやハードディスク搭載ブルーレイディスクレコーダー*1、AVアンプ*1などをHDMIケーブルでつなぐと、それぞれの機器間で連動した操作ができるようになります。

*1 本機からのHDMI出力信号は、テレビに入力して視聴する以外の用途には対応しておりません。

対応機器をつなぐ*2

HDMIケーブルでつなぎます。接続にはHDMIロゴが付いているものをお使いください。

*2 HDMI機器制御機能は、ソニーのHDMI機器制御対応機器間のみで可能です。

HDMI機器制御の設定をする

HDMI機器制御を使うには、本機とテレビでそれぞれ設定が必要です。本機側の設定については、「HDMI機器制御」（61ページ）をご覧ください。テレビの設定方法については、「［手順7］ HDMI機器制御を設定する」（22ページ）またはテレビの取扱説明書をご覧ください。

HDMI機器制御でできること

- テレビの電源を切ると本機の電源も連動して切れる。
- 本機のリモコンの「見る」「予約する」ボタンを押すと、テレビの電源も連動して入り、テレビの入力も自動的に切り換わる。
- 簡単な操作でAVアンプからの音声に切り換えられる。また、オートジャンルセレクター機能に対応したテレビやAVアンプをつないでいる場合、最適なサウンドフィールドを自動的に選ぶ。
- テレビのホームメニューでHDMI機器制御対応機器を選べば、選んだ機器の電源が自動で入る。

ご注意

- お買い上げ時や、新しいテレビと接続されたときには、テレビとの連携動作ができない状態となっている場合があります。その場合は、一度テレビの電源が入っている状態で、本機の電源スイッチを押すと、連携動作が働くようになります。
- HDMI機器制御非対応の機器をテレビの別のHDMI入力に接続しているときのご注意
  HDMI機器制御非対応の機器が接続されているテレビのHDMI入力に切り換えて映像を表示していると、本機が接続されているHDMI入力に自動的に切り換わることがあります。これは本機の正常動作によるもので、故障ではありません。テレビの入力切り換えを行ってください。

デジタル放送お問い合わせ先一覧

2009年10月現在の電話番号とホームページアドレスです。

有料BS・110度CSデジタル放送局

放送局	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
WOWOW[*1]	0120-580807 受付 9:00 ～ 20:00（年中無休） http://www.wowow.co.jp/
スター・チャンネル[*2]	スター・チャンネル カスタマーセンター 0570-013-111 PHS、IP電話のお客様は 045-339-0399 受付 10:00 ～ 18:00 http://www.star-ch.co.jp/ なお、スター・チャンネルBSの加入申し込みは、下記のスカパー！ｅ２へお問い合わせください。

＊1 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（WOWOW プロモチャンネル：791ch）は無料放送です。

＊2 テレビ放送のみが、視聴申し込みが必要な有料放送です。独立データ放送（800ch）は無料放送です。

110度CSデジタル衛星サービス会社

110度CSデジタル衛星サービス	お問い合わせ電話番号／ホームページアドレス
スカパー！ｅ２（CS1・CS2）	■ カスタマーセンター 「スカパー！ｅ２カスタマーセンター」 0570-08-1212 PHS、IP電話のお客様は 045-276-7777 受付 10:00 ～ 20:00（年中無休） ■ ホームページ 「スカパー！ｅ２ホームページ」 www.e2sptv.jp

受信地域（エリア）や受信方法などのデジタル放送全般について

機関	ホームページアドレス
（社）デジタル放送推進協会（Dpa）	http://www.dpa.or.jp

地デジの受信相談について

機関	お問い合わせ電話番号
総務省地上デジタルテレビジョン放送受信相談センター	電話：0570-07-0101 （平日 9:00 ～ 21:00、 土・日・祝日 9:00 ～ 18:00）

マルチリモコンについて

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1 本機を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2 万一、本機から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか、または電波の発射を停止した上、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせいただき、混信回避のための処理など（たとえば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3 その他、本機から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して、有害な電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、裏表紙に記載のソニーご相談窓口にお問い合わせください。

2.4DS1

この表示のある無線装置は2.4GHz帯を使用しています。変調方式としてDS-SS方式を採用し、与干渉距離は10mです。

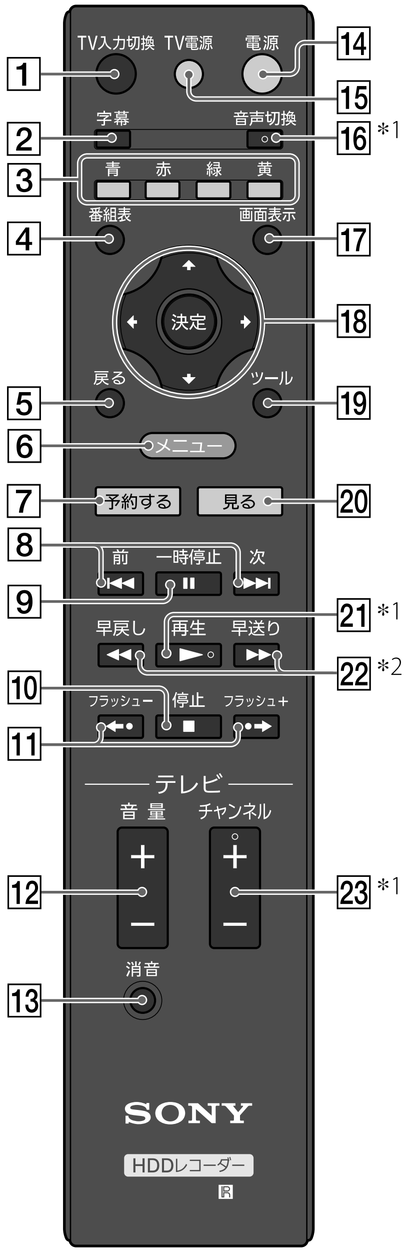
電波法に基づく認証について

本機内蔵の無線装置は、電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認証を受けています。証明表示は無線設備上に表示されています。
従って、本製品を使用するときに無線局の免許は必要ありません。
ただし、以下の事項を行うと法律で罰せられることがあります。
使用上の注意に反した機器の利用に起因して電波法に抵触する問題が発生した場合、弊社ではこれによって生じたあらゆる損害に対する責任を負いかねます。

- 本機内蔵の無線装置を分解／改造すること。
- 本機内蔵の無線装置に貼られている証明ラベルを剥がすこと。

各部の名前

リモコンのボタン



＊1 の付いたボタン（チャンネル＋ボタン、音声切換ボタン、再生ボタン）の上には、凸点（突起）が付いています。操作の目印として、お使いください。

＊2 一時停止中に▶▶を1秒以上押すと、スロー再生します。

次のページにつづく⇨

各部の名前（つづき）

1 TV入力切換

テレビの入力を切り換えます。

2 字幕

字幕の入／切や言語を切り換えます。

ちょっと一言

- 字幕放送の取得には、時間がかかることがあります。
- 字幕ボタンを押すと、番組に字幕があるかどうかに関わらず、［第1言語］または［第2言語］、［切］に切り換わります。次に字幕のある番組が放送されたときに切り換えた字幕が表示されます。
- 字幕放送とはデジタル放送の映画やドラマなどの字幕のことです。

3 カラーボタン（青、赤、緑、黄）

画面で行う操作に使用します。

4 番組表

番組表を表示します。

5 戻る

1つ前の画面に戻ります。

6 メニュー

メニュー画面に切り換えます。

7 予約する

番組表が表示されます。

8 ⏮ ／ ⏭（前／次）

前／次のチャプターに進みます。

9 ⏸（一時停止）

映像を表示したまま停止します。

10 ■（停止）

再生中の映像を停止します。

11 ←•／•→（フラッシュー／＋）

少し前に戻る、または少し先に進みます。

12 音量＋／－

テレビの音量を調節します。

13 消音

テレビの音声を消音します。電源スタンバイ時に押すと、最小の音量で電源が入ります。音量＋ボタンを押すと、音声が出ます。

14 電源

HDMI機器制御に対応していないテレビに接続しているときに本機の電源の入／切を行います。
HDMI機器制御に対応しているテレビに接続し、テレビと本機のHDMI機器制御の設定が入になっているときは、このボタンでは操作できません。TV電源ボタンでテレビの電源に連動します。

15 TV電源

HDMI機器制御に対応しているテレビに接続し、HDMI機器制御の設定が［入］になっているとき

テレビと本機の電源の入／切を行います。テレビと本機の電源は連動します。

HDMI機器制御に対応していないテレビに接続しているとき

テレビの電源の入／切を行います。

16 音声切換

副音声や第2音声（デジタル放送のみ）があるときに切り換えます。

ちょっと一言

チャンネルを切り換えたときは、第1音声に切り換わります。

17 画面表示

チャンネルや番組情報を表示します。



18 ↑↓←→決定

↑↓←→でメニューなどの項目を選んだり、カーソルの移動をします。
決定で選んだ項目を決定します。

19 ツール

そのときにできる便利なことを表示します。

20 見る

本機の録画リストが表示されます。

21 ▶（再生）

映像を再生します。

22 ◀◀ ／ ▶▶（早戻し／早送り）

早戻し／早送り再生します。押すたびに3段階で早さが変化します。
一時停止中に▶▶を1秒以上押すと、スロー再生します。

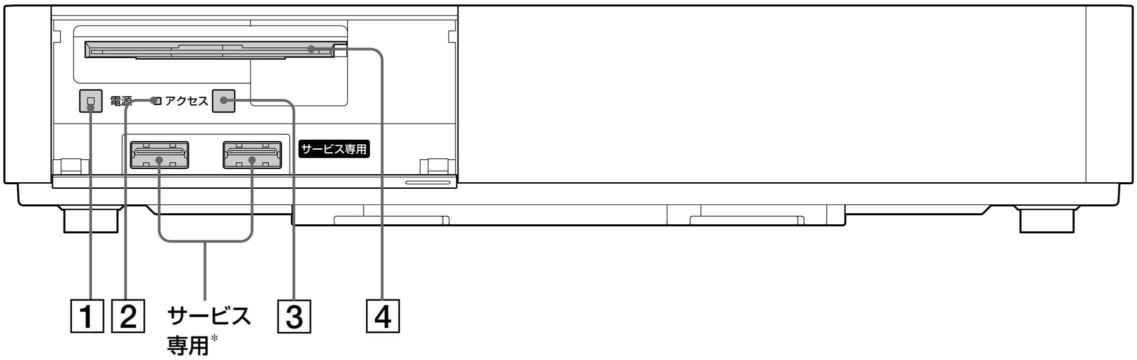
23 チャンネル＋／－

テレビのチャンネルを順送りで切り換えます。

その他

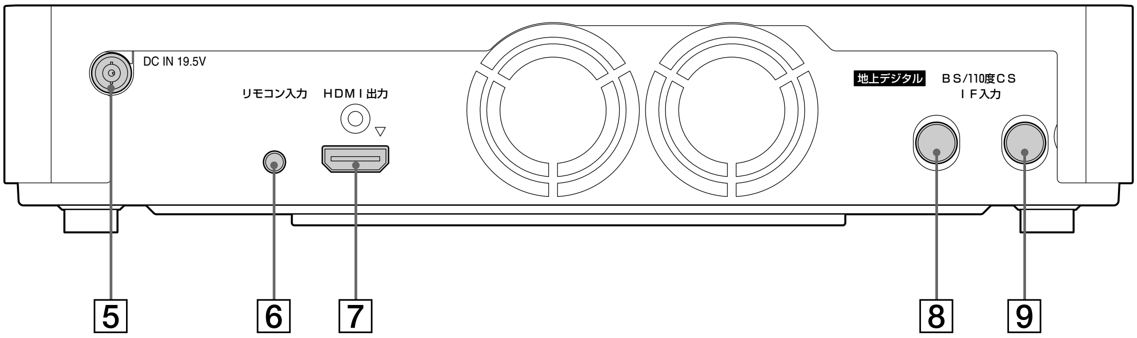
接続端子

本機前面



＊ サービス専用端子は使用しないでください。

本機後面



その他

次のページにつづく⇨

各部の名前(つづき)

1 電源スイッチ/ランプ
HDMI機器制御に対応していないテレビに接続しているときに本機の電源の入/切を行います。HDMI機器制御に対応しているテレビに接続し、テレビと本機のHDMI機器制御の設定が入になっているときは、このスイッチでは操作できません。テレビの電源に連動します。
電源「入」のときは電源ランプが緑色に点灯し、電源「切」(スタンバイ)のときは赤く点灯します。

2 アクセスランプ
ハードディスクの書き込み、読み出し動作中に点滅します。

ご注意
点滅中は本機を動かしたり、電源コードを抜いたりしないでください。

3 リモコン受光部

ご注意
リモコン延長受光部をリモコン入力端子に取り付けると、この受光部は無効になります。

4 B-CASカード挿入口
付属のB-CASカードを挿入します。

5 電源DC19.5V入力端子
付属のACパワーアダプターをつなぎます。

6 リモコン入力端子
付属のリモコン延長受光部をつなぎます。

7 HDMI出力端子
テレビのHDMI入力端子につなぎます。デジタル映像・音声信号を出力します。
対応している映像信号:1125i(1080i)
対応している音声信号:リニアPCM 32kHz、44.1kHz、48kHz、MPEG-2 AAC

ご注意
HDMI端子搭載機器と接続できますが、一部の機器では映像や音声が出ないなど正常に動作しない場合があります。

8 地上デジタル入力端子

9 BS/110度CS IF入力端子
衛星アンテナからの同軸ケーブルをつなぎます。衛星アンテナ用の電源を供給するため、DC15Vの直流電圧が出ています。

ご注意
VHF/UHF用のアンテナ接続ケーブルは絶対につながないでください。

索引

五十音順

あ行

か行

さ行

た行

な行

は行

ま行

や行

次のページにつづく⇨

ら行

数字・アルファベット順

数字

アルファベット

Memo

ソニーご相談窓口のご案内

ソニー製品の使い方相談、修理相談、お買い物相談については下記の窓口またはお買い上げの販売店をご利用ください。
なお、修理をご依頼される際は、「取扱説明書」に記載の「故障とお考えになる前に」または「故障かな？」などを一度ご覧になり故障かどうかご確認ください。それでも正常に動作しない場合は、**①型名　②お買い上げ日　③故障症状**を具体的にご連絡ください。

【ソニー製品の使い方・修理・お買い物に関するお問い合わせ】

ホームページ　製品のサポート情報やお問い合わせについてご覧いただけます。

サポート・お問い合わせ　**http://www.sony.jp/support/**

お電話

使い方相談窓口	修理相談窓口	買い物相談窓口
フリーダイヤル:0120−333−020 携帯電話・PHS・一部のIP電話:0466−31−2511 受付時間　月〜金：　9:00〜18:00 土・日・祝：9:00〜17:00	フリーダイヤル:0120−222−330 携帯電話・PHS・一部のIP電話:0466−31−2531 受付時間　月〜金：　9:00〜20:00 土・日・祝：9:00〜17:00 ※取扱説明書、リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。	フリーダイヤル:0120−777−886 携帯電話・PHS・一部のIP電話:0466−31−2546 受付時間　月〜金：　9:00〜18:00 土・日・祝：9:00〜17:00

FAX（共通）0120−333−389

【 Customer Information Center Japan 】
FreeDial 0120-000-488
The number you can call from your cellular phone or PHS or IP phone is following : 0466-31-2561
Business hours : Mon.- Fri. 9:00-20:00　Sat. Sun. & Public holidays 9:00-17:00

【ソニーお客様ご相談カウンター】

ソニー製品の基本的な使い方について、サポートをさせていただく「総合相談窓口」です。
詳細はホームページhttp://www.sony.jp/support/counter/にてご確認ください。
修理に関しては修理相談窓口（フリーダイヤル 0120-222-330）へご相談ください。

名　称	所　在　地
お客様ご相談カウンター銀座	〒104-0061　東京都中央区銀座5-3-1　ソニービル6 F
お客様ご相談カウンター名古屋	〒460-0008　愛知県名古屋市中区栄1-23-10　SFI名古屋ビル1F
お客様ご相談カウンター梅田	〒530-0001　大阪府大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENT4F　ソニースタイル大阪 内
お客様ご相談カウンター福岡	〒810-0072　福岡県福岡市中央区長浜1-4-13　SFI福岡ビル1F

【出張修理受付窓口】

大型テレビなどの一部製品につきましては、出張修理を受け付けております。
出張修理は、「修理相談窓口」（フリーダイヤル 0120-222-330）へご相談ください。

【持込修理受付窓口】

お買い上げの販売店以外でも、「ソニーサービスステーション」と「ソニー修理受付認定店」で、持込修理の受け付けや付属品・部品のお取り寄せを承っております。
「ソニー修理受付認定店」につきましては、「修理相談窓口」（フリーダイヤル0120-222-330）へお問い合わせいただくか、ホームページhttp://www.sony.jp/support/でもご案内しておりますのでご利用ください。

ソニーサービスステーション一覧

名　　称	電話番号	所　在　地
サービスステーション札幌	011-862-4486	〒003-0027 北海道札幌市白石区本通21丁目北1-14
サービスステーション仙台中央	022-292-1631	〒983-0852 宮城県仙台市宮城野区榴岡2-5-30 SFI仙台ビル1F
サービスステーション大宮	048-653-6900	〒331-0812 埼玉県さいたま市北区宮原町1-210 SFI大宮ビル1F
サービスステーション品川	03-6748-3990	〒108-0075 東京都港区港南1-7-1 1F
サービスステーション秋葉原	03-5818-0521	〒110-0005 東京都台東区上野3-1-2 秋葉原新高第一生命ビル1F
サービスステーション横浜	045-231-6968	〒220-0022 神奈川県横浜市西区花咲町5-137 SFI横浜ビル1F
お客様ご相談カウンター名古屋	052-205-6860	〒460-0008 愛知県名古屋市中区栄1-23-10 SFI名古屋ビル1F
サービスステーション日本橋	06-6643-1501	〒556-0011 大阪府大阪市浪速区難波中1-13-17 ナンバ辻本ニッセイビル1F
サービスステーション京都	075-661-5040	〒601-8121 京都府京都市南区上鳥羽大物町8 SFI京都ビル1F
サービスステーション広島	082-545-4611	〒730-0811 広島県広島市中区中島町2-21 SFI広島ビル1F
お客様ご相談カウンター福岡	092-781-6682	〒810-0072 福岡県福岡市中央区長浜1-4-13 SFI福岡ビル1F
サービスステーション那覇	098-877-0323	〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客4-17-15

●記載内容は予告なく変更になることがありますので、予めご了承ください。

（2009年10月現在）

よくあるお問い合わせ、窓口受付時間などは
ホームページをご活用ください。 **http://www.sony.co.jp/support**

使い方相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-333-020
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2511

修理相談窓口

フリーダイヤル・・・・・・・・・・・・・・・・0120-222-330
携帯電話・PHS・一部のIP電話・・・ 0466-31-2531

※取扱説明書・リモコン等の購入相談はこちらへお問い合わせください。

FAX（共通） 0120-333-389

左記番号へ接続後、
最初のガイダンスが
流れている間に
「200」+「#」
を押してください。
直接、担当窓口へ
おつなぎします。

ソニー株式会社 〒108-0075 東京都港区港南1-7-1

この説明書は、古紙70％以上の再生紙を使用しています。

4135398030

Printed in Japan